

第 5 回 横須賀市都市計画マスタープラン検討会議

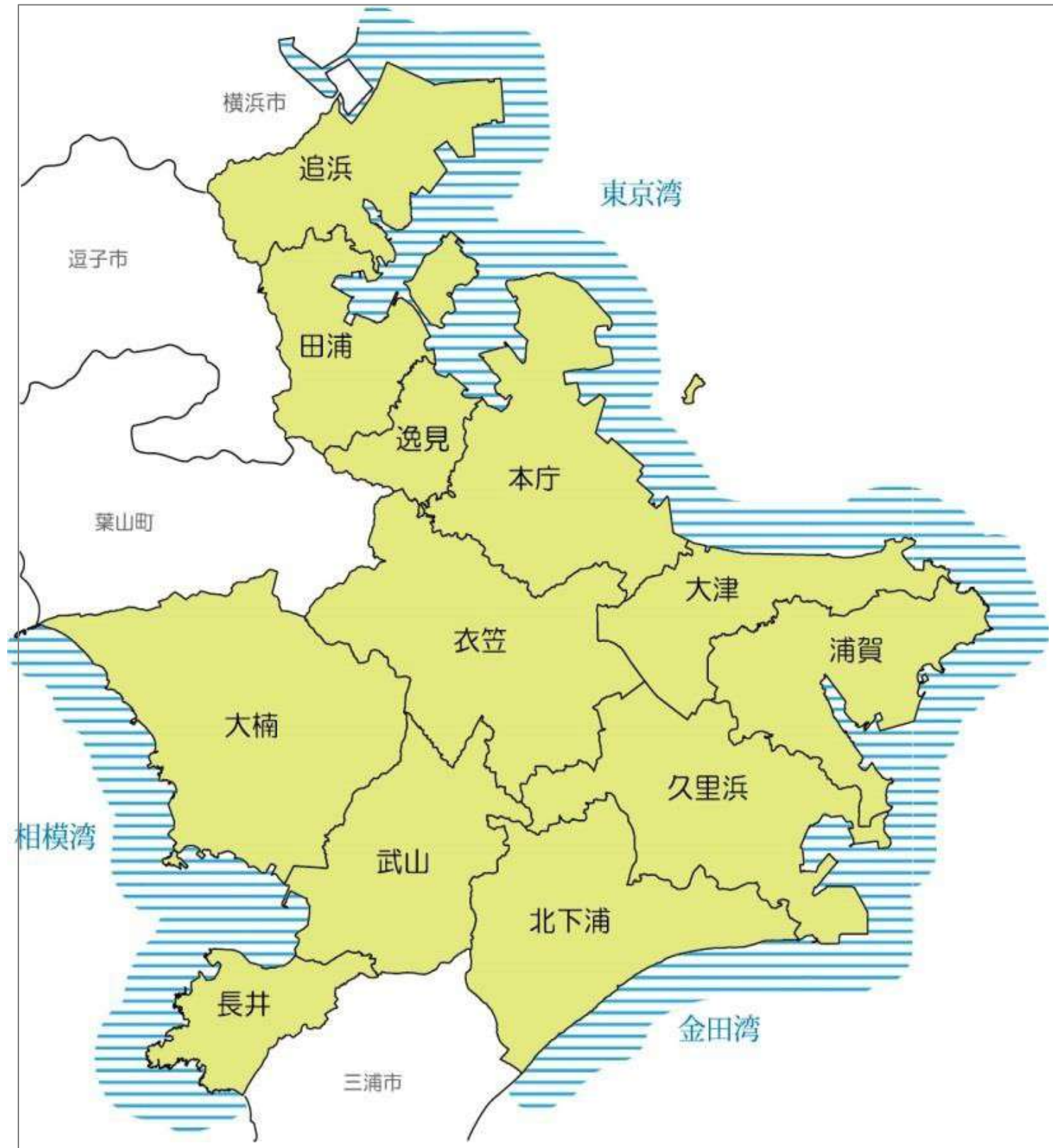
補足資料

【地区の概況】		
5.	衣笠地区	3
6.	大津地区	9
7.	浦賀地区	15
8.	久里浜地区	21
9.	北下浦地区	27
10.	大楠地区	33
11.	武山地区	39
12.	長井地区	45

平成 27 年 6 月 25日

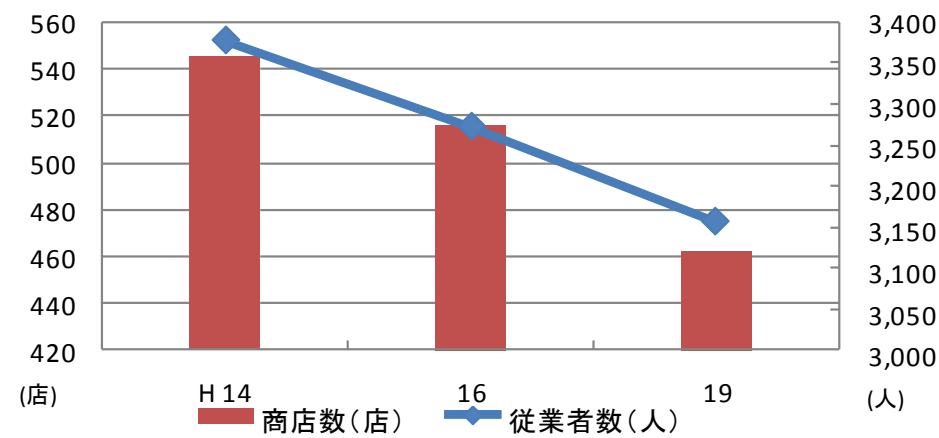
横須賀市都市部都市計画課

【12地区の区域図】

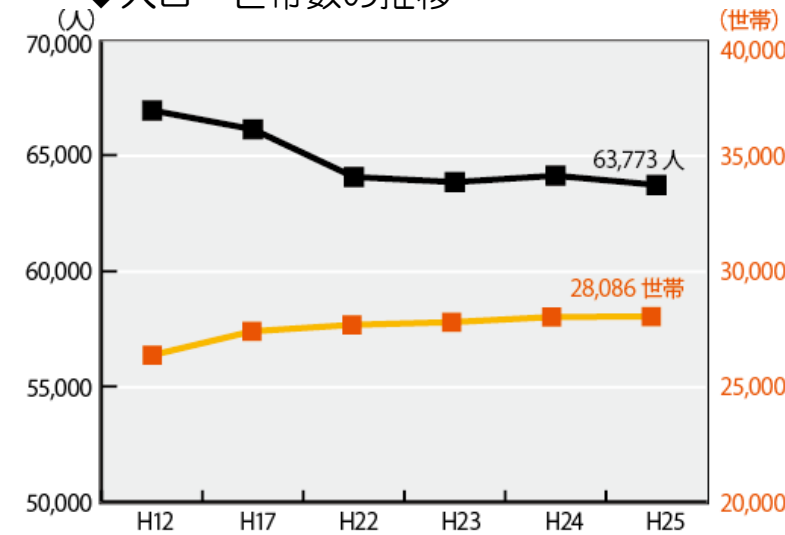


5. 衣笠地区

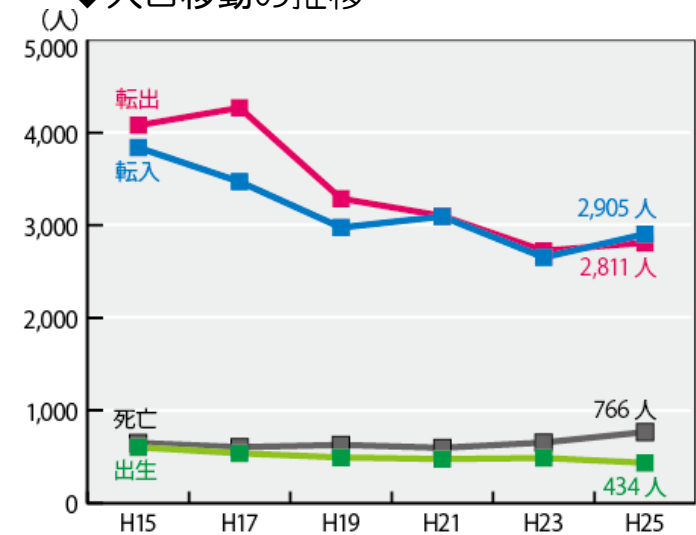
◆商店数・従業者数の推移



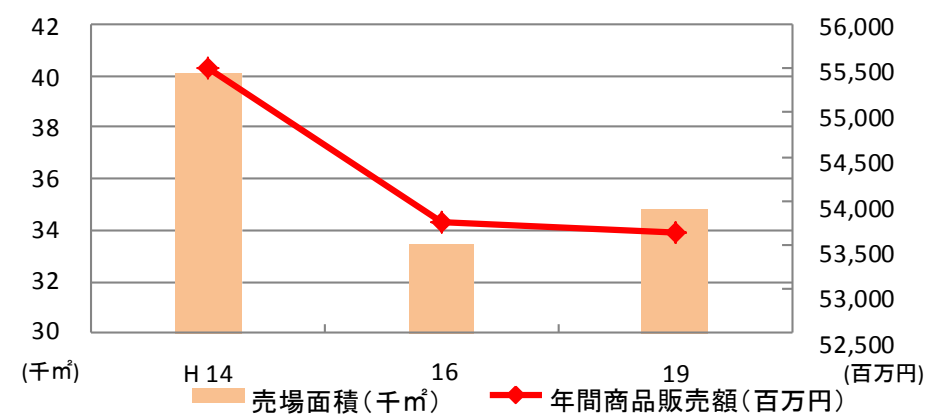
◆人口・世帯数の推移



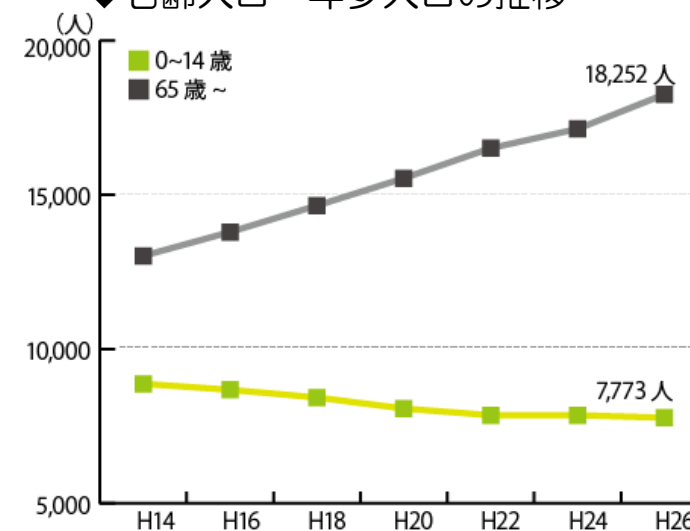
◆人口移動の推移



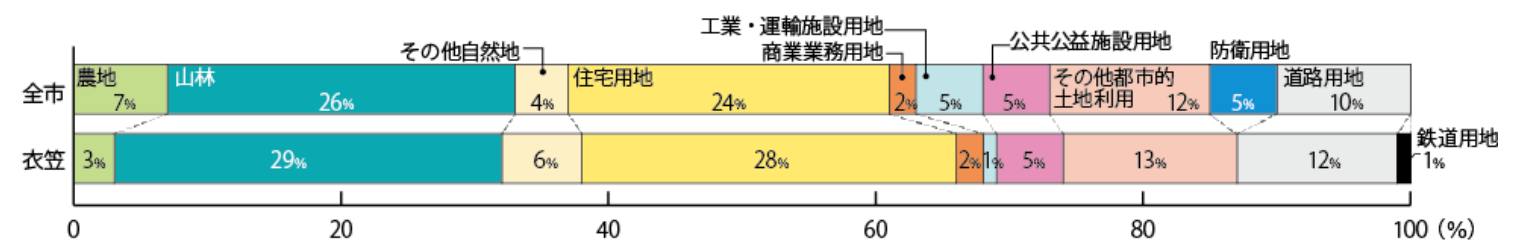
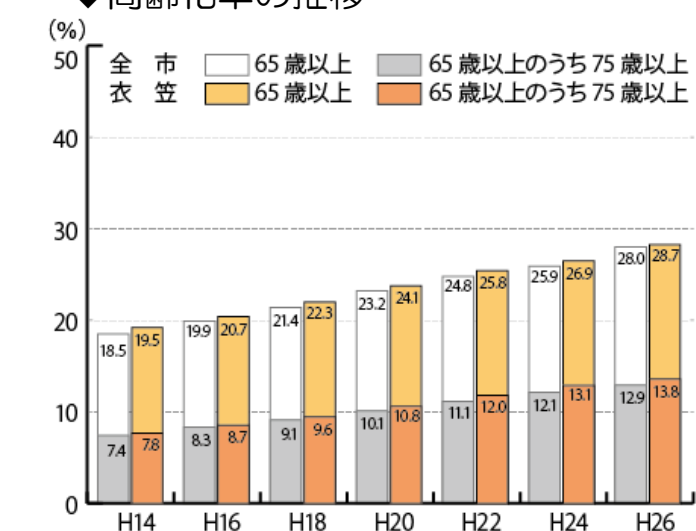
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



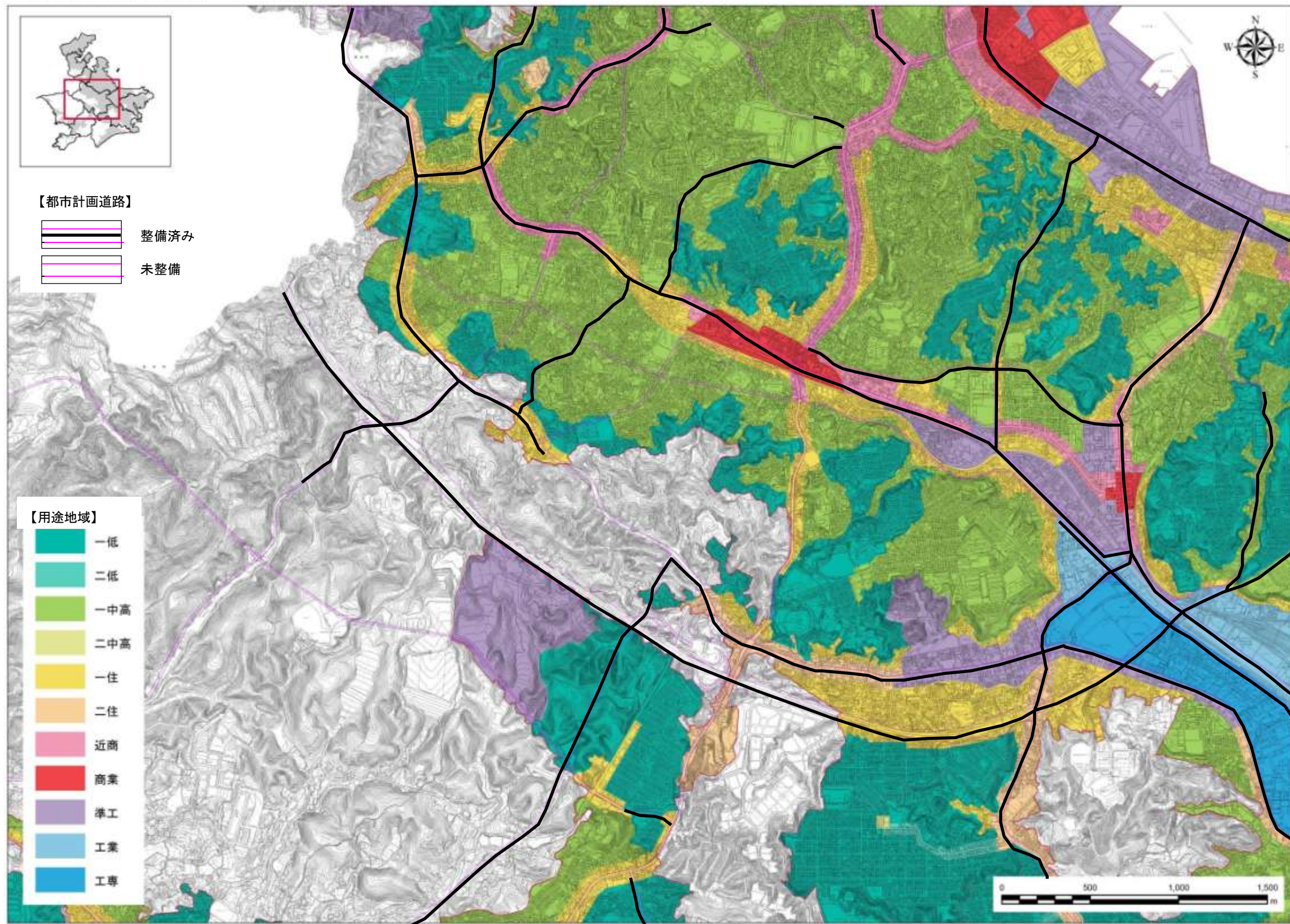
◆高齢人口・年少人口の推移



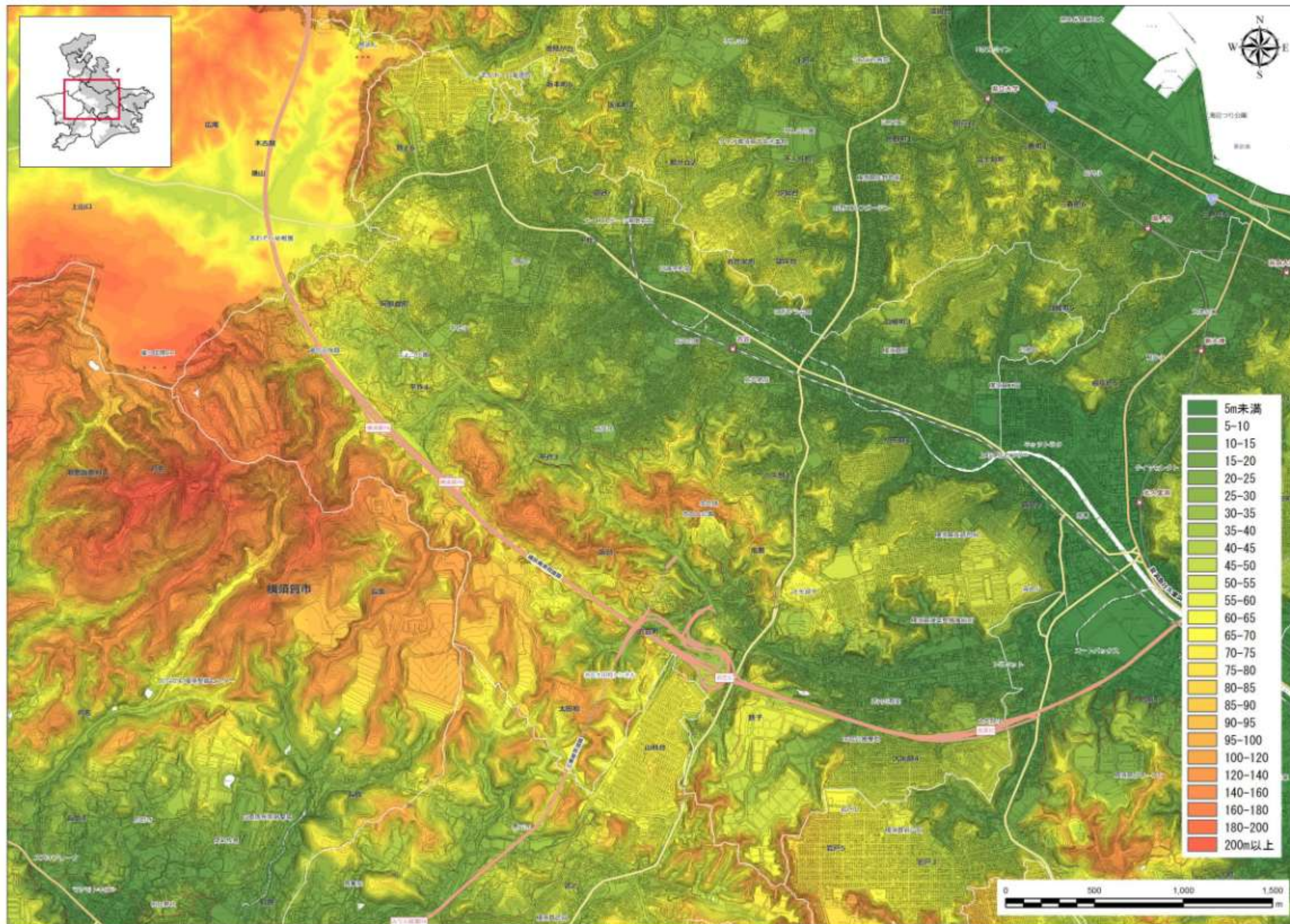
◆高齢化率の推移



■都市計画の決定状況（衣笠地区）



■標高図（衣笠地区）



■ 航空写真（衣笠地区）



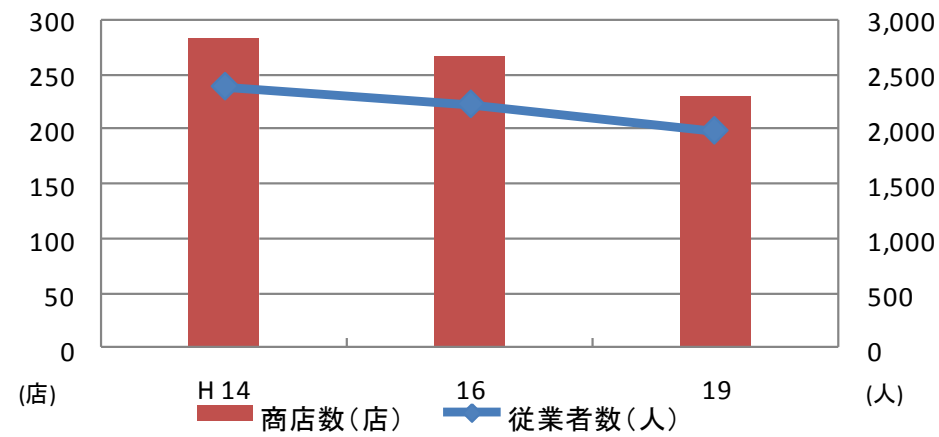
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要： 5. 衣笠

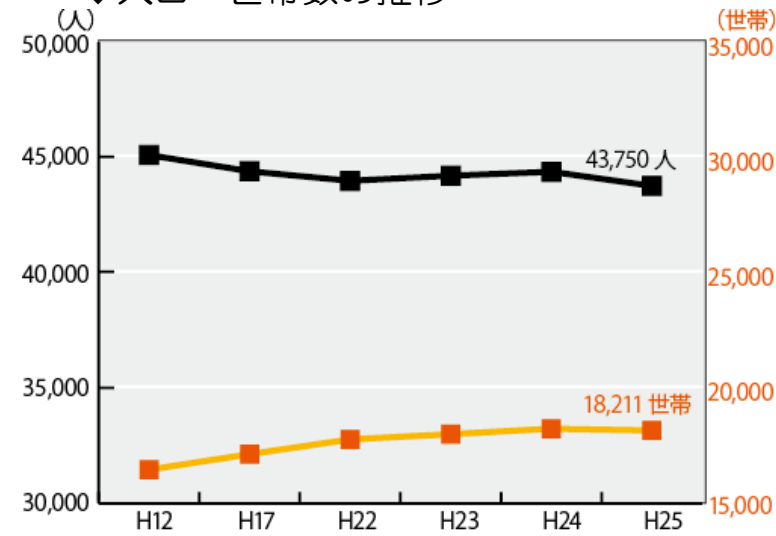
1. 気候温暖で住みやすいまちだが、土地を離れていく人が多い。近くに働く場所を確保する必要があるが難しい。
2. 丘陵部の自然環境の中核にゴミ最終処分場、ごみ焼却場があることは、環境共生型社会や自然環境と調和した交流ゾーンに整合しない。
3. 拠点ネットワーク型の都市づくりは良い考えであるが、人口減少の問題をさらに考えたい。
4. 大型店の出店計画がある。住民には便利になるが、その影響で衣笠の商店街が衰退するのは困る。いいアイディアがほしい。
5. 衣笠十字路の地下道は階段だけであり、自転車、乳母車、高齢者は利用できないので、改善をする必要がある。
6. 阿部倉、平作、衣笠山公園あたりは緑が多く里山の地形が残されているので、この連続した環境を保全活用したい。
7. 自然を大切にして子ども達が生活しやすいまちにしたい。

6. 大津地区

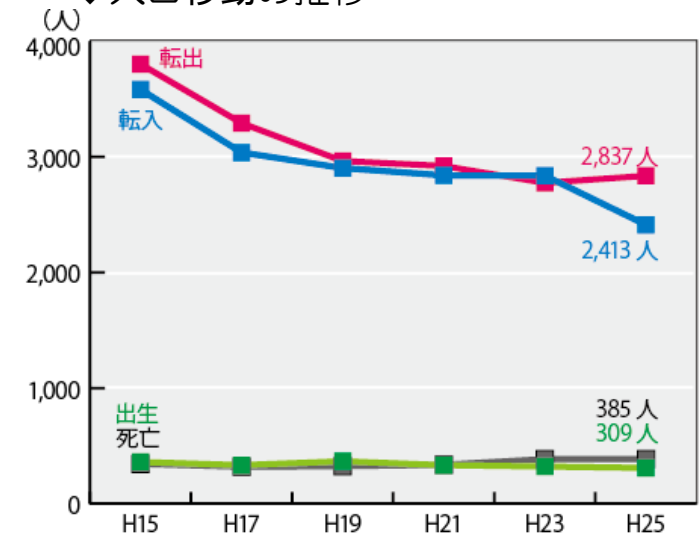
◆商店数・従業者数の推移



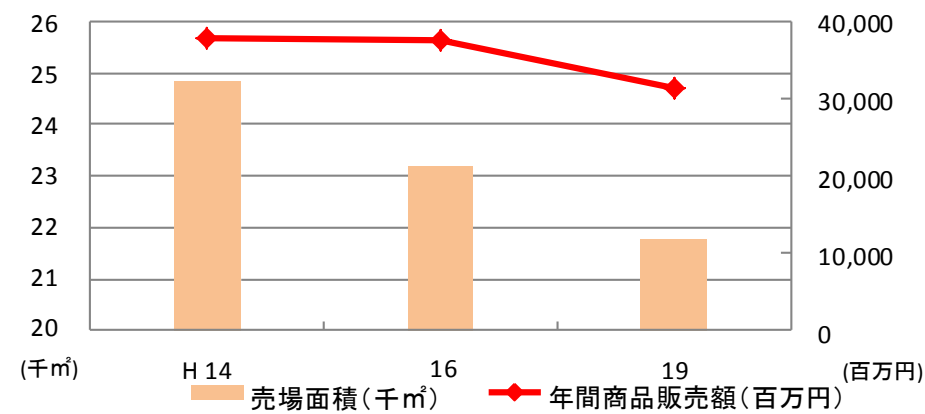
◆人口・世帯数の推移



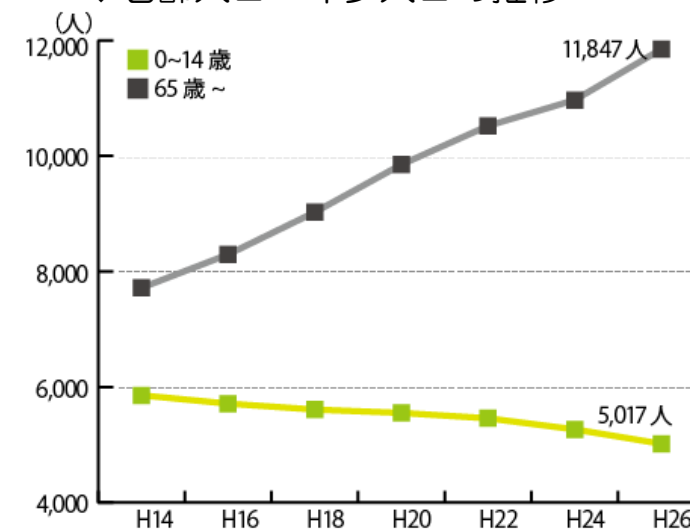
◆人口移動の推移



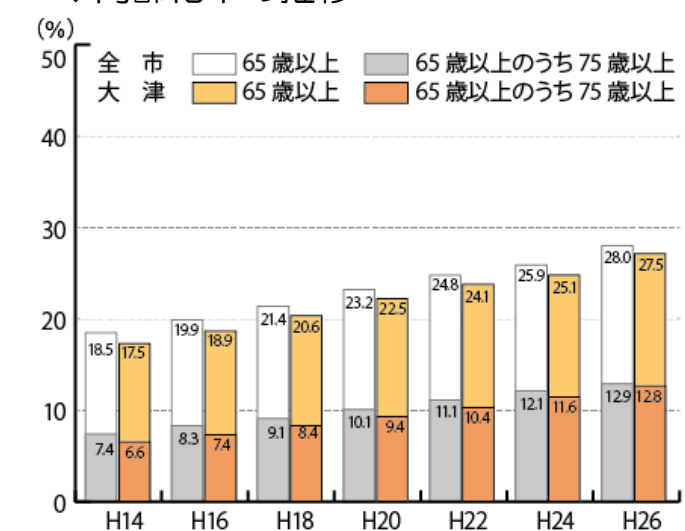
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



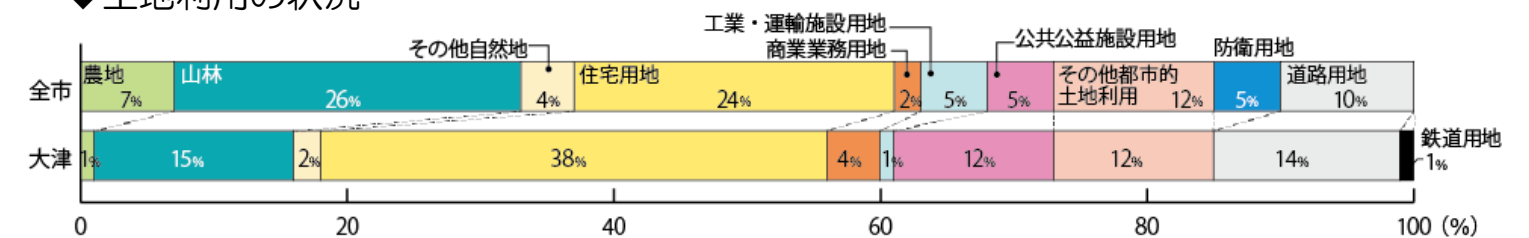
◆高齢人口・年少人口の推移



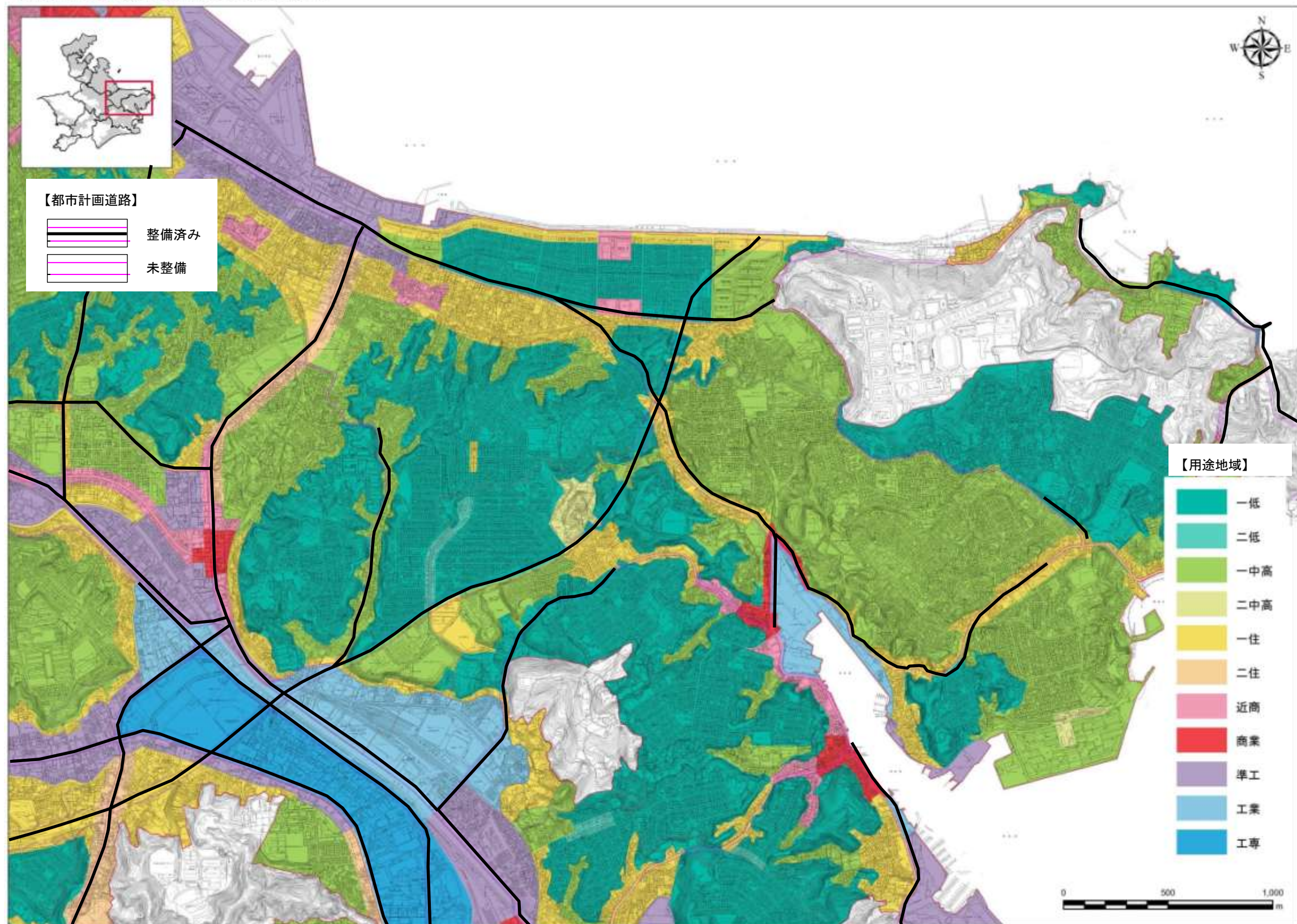
◆高齢化率の推移



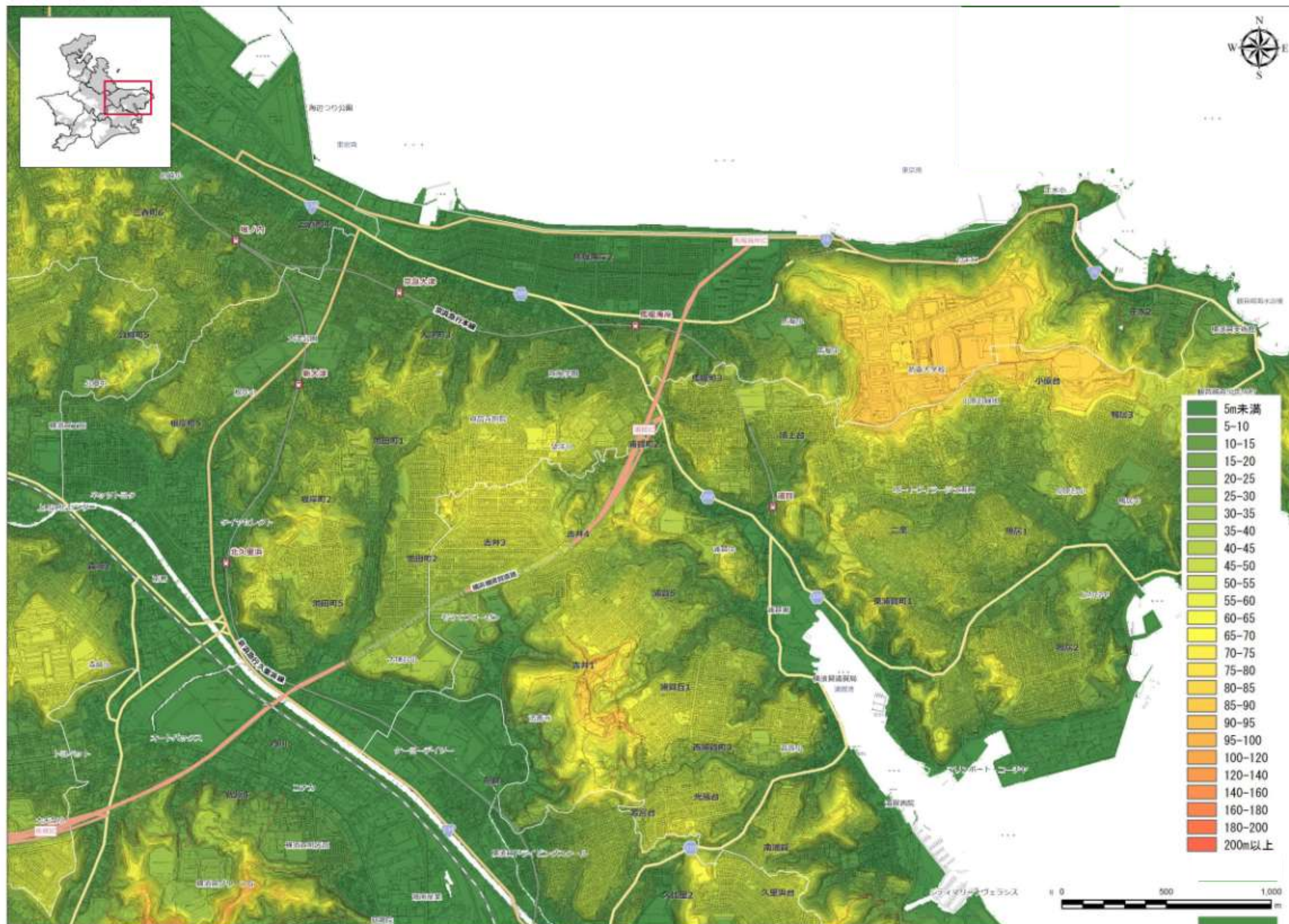
◆土地利用の状況



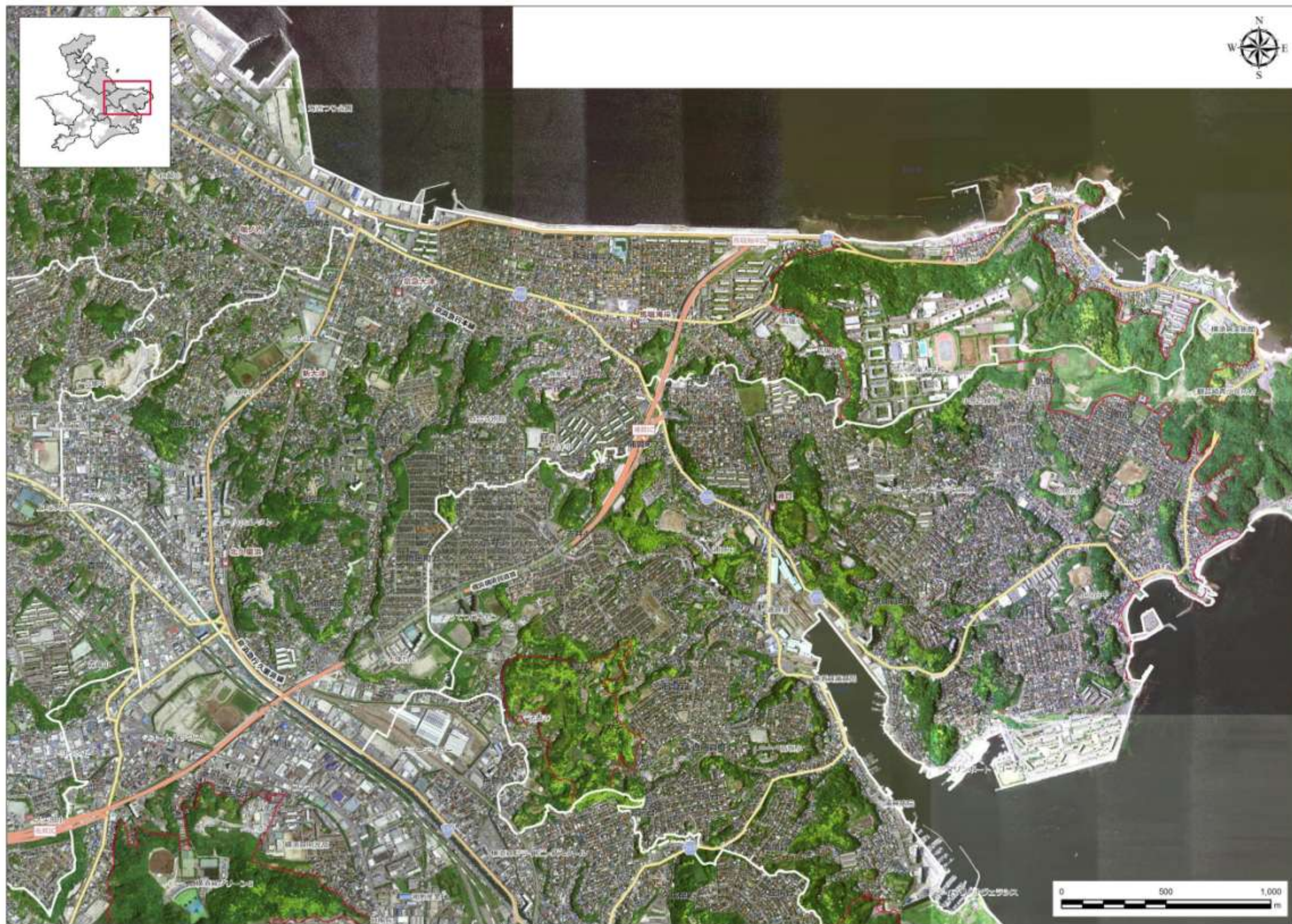
■都市計画の決定状況（大津地区）



■標高図（大津地区）



■ 航空写真（大津地区）



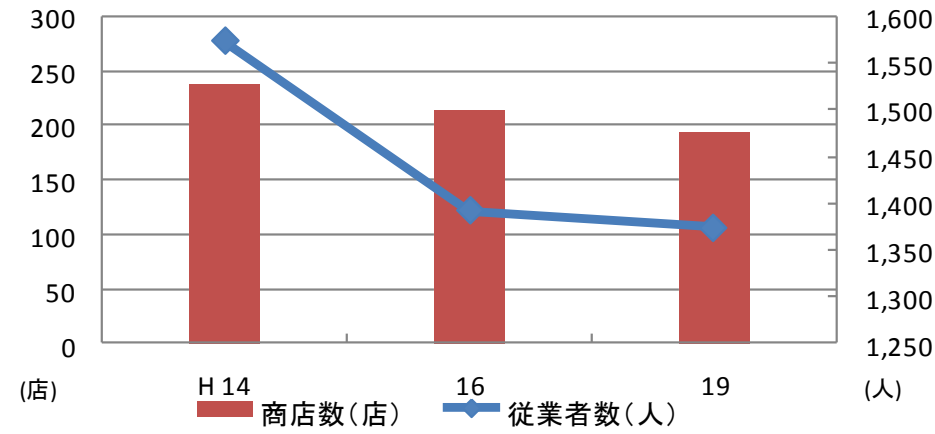
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要： 6. 大津

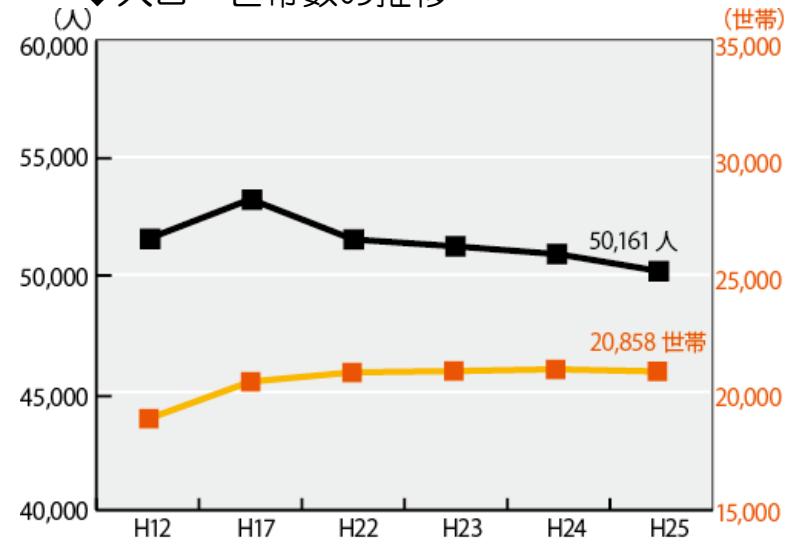
1. 行政の役割は福祉が中心にあるべきで、福祉が行き届けば住む人も増える。
2. 平成町の大型店の影響で商店街がさびれ、高齢者は買い物が不便になっている。
3. 前方後円墳など歴史的資源や文化人を生かしたまちづくりをすれば人が集まる。
4. 横須賀市は漁業が盛んだったので、振興したい。
5. 馬堀プールは夏は利用者が多いがそれ以外は人はいないので、イベント等の活用できないか。
6. 市営住宅の跡地を市民農園として開放できないか。

7. 浦賀地区

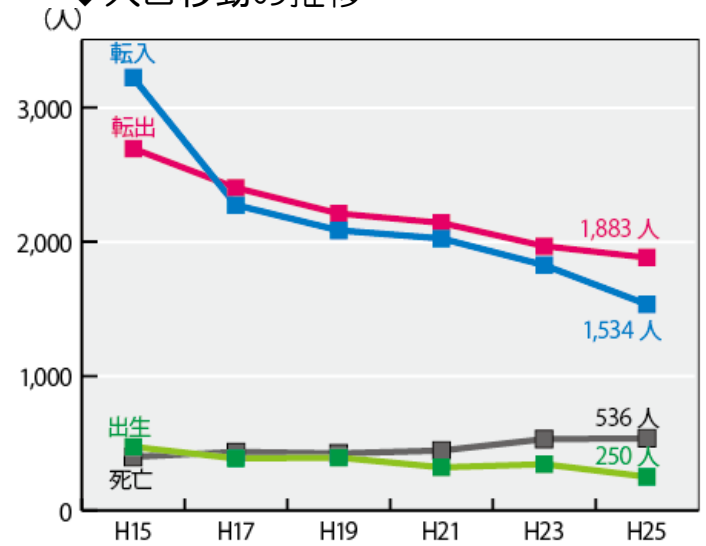
◆商店数・従業者数の推移



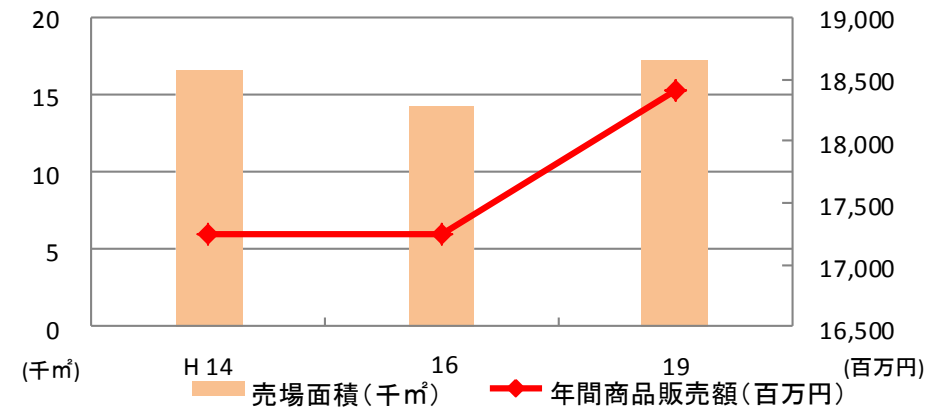
◆人口・世帯数の推移



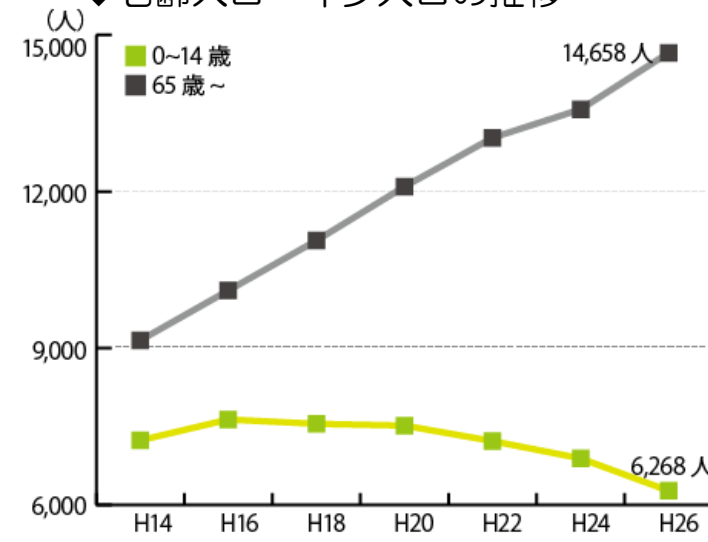
◆人口移動の推移



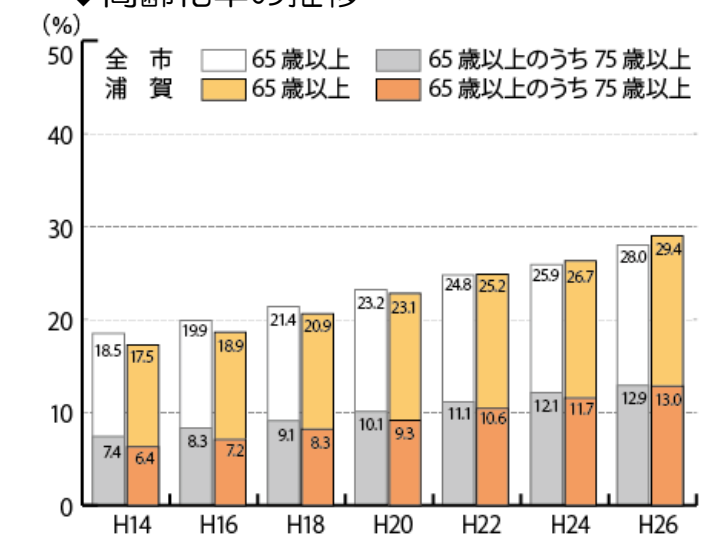
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



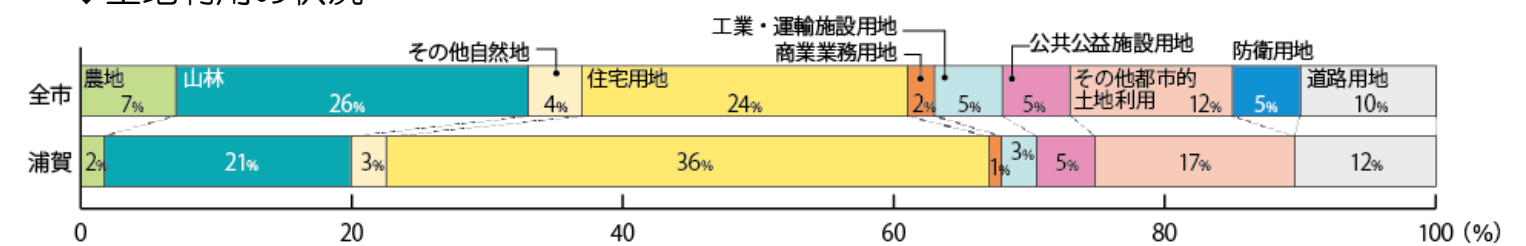
◆高齢人口・年少人口の推移



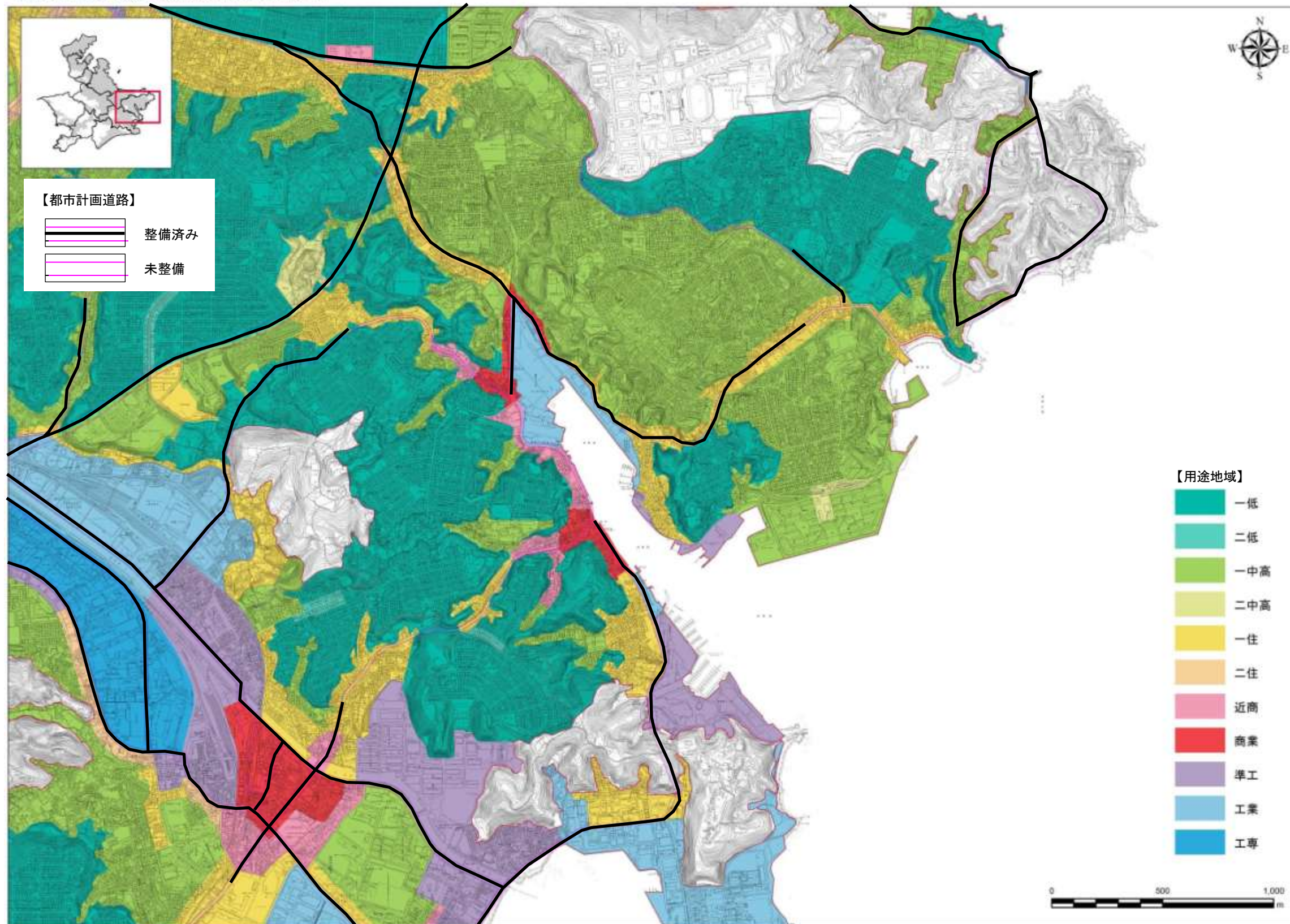
◆高齢化率の推移



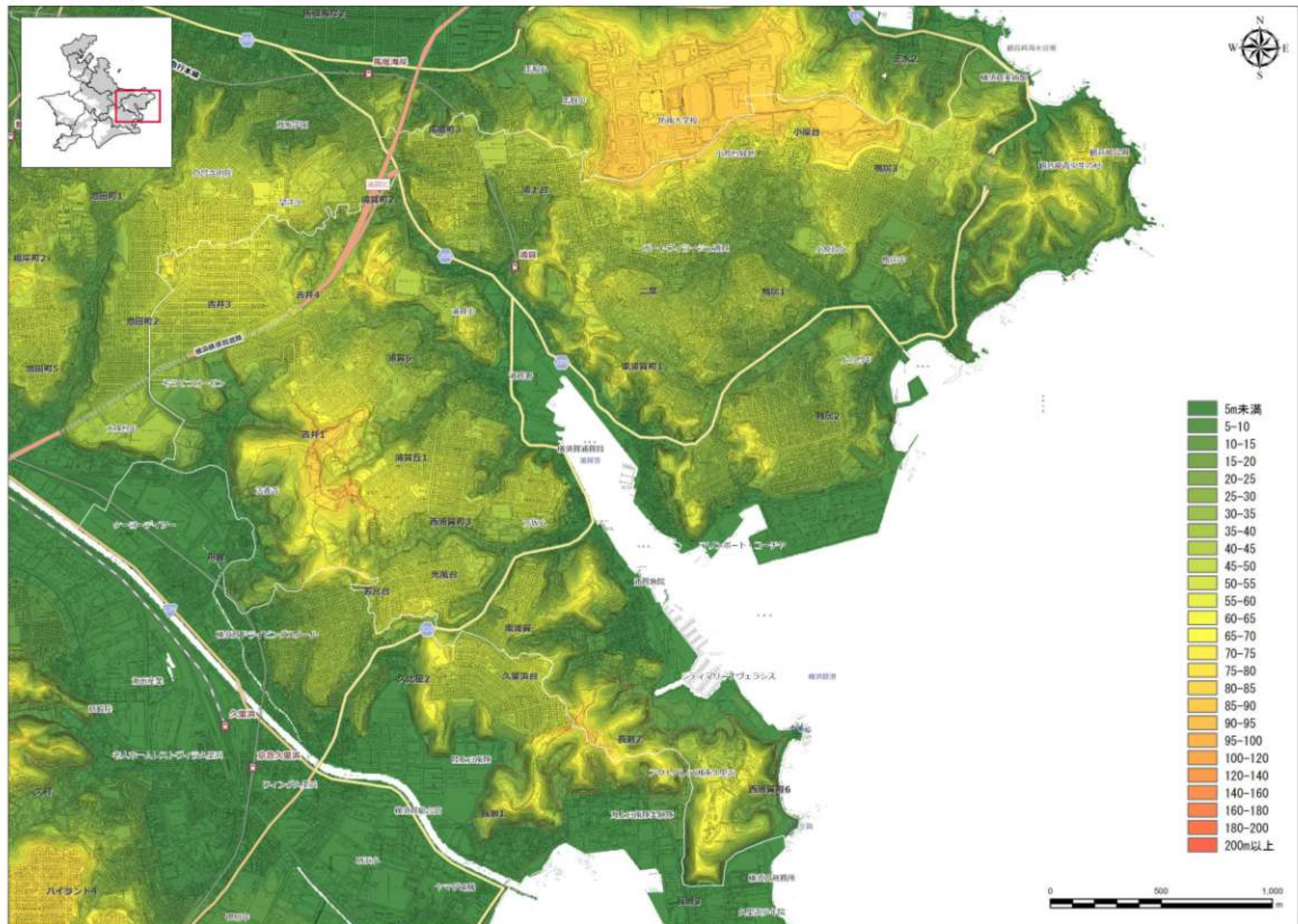
◆土地利用の状況



■都市計画の決定状況（浦賀地区）



■標高図（浦賀地区）



■ 航空写真（浦賀地区）



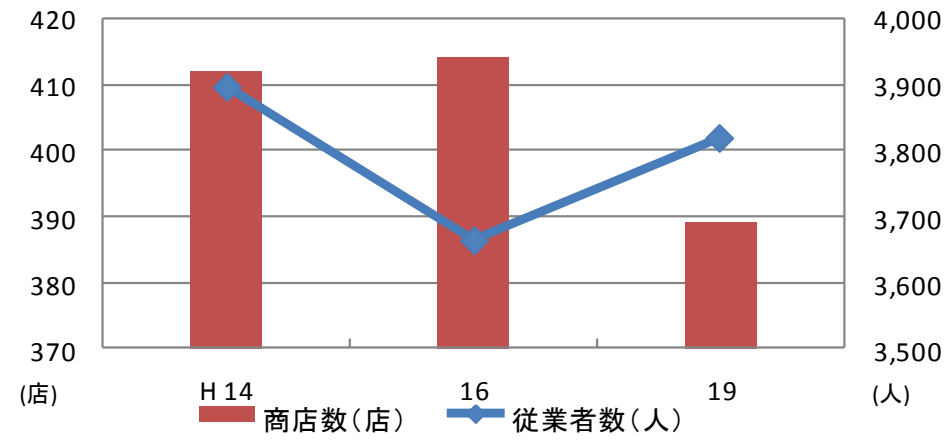
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要： 7. 浦賀

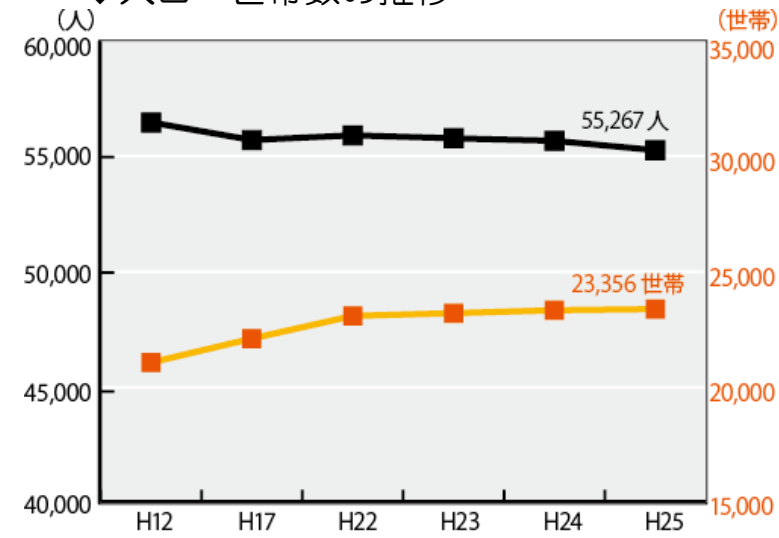
1. 人口減少や高齢化などのマイナスの状況を防ぐための計画をつくり実行していくべき。働く場を市内につくる必要がある。
2. 長期間、放置されていて地域の開発の妨げとなる土地や空き家に対する方策が必要である。
3. 浦賀は近代歴史の発祥の地であり、その史跡を整備し観光都市・横須賀となる。浦賀港の再生、東京湾の入り口としての有効活用。小中高校を久里浜に集中する。
4. 住重跡地の早期の事業化が必要だ。住重跡地をシニアの街にして高齢者施設、病院、商業施設をつくるとよい。
5. 地形的に新しい宅地は作りにくいですが、空家が増えているので、これを活用していく。2軒分を1軒で利用して居住性の良い住宅を創る。
6. 福祉施設を西浦賀に集中し、車椅子での生活ができる高齢者が住みやすい地域とする。

8. 久里浜地区

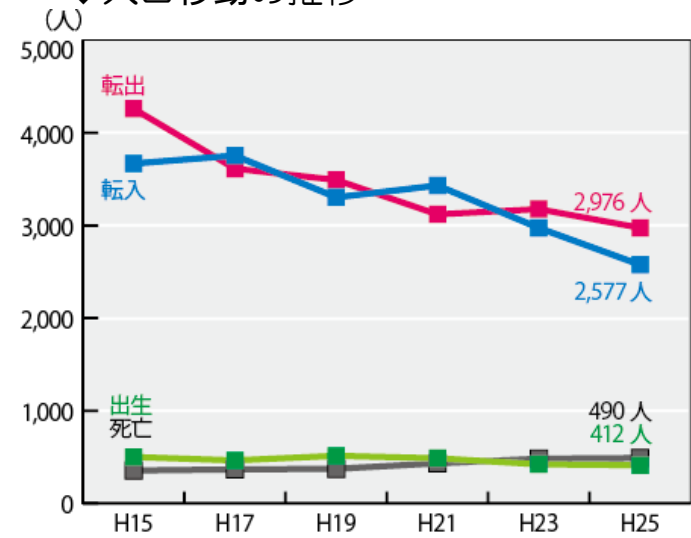
◆商店数・従業者数の推移



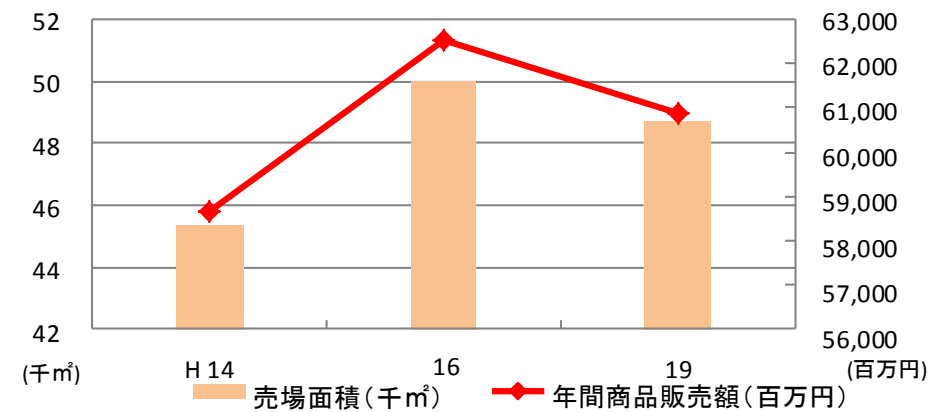
◆人口・世帯数の推移



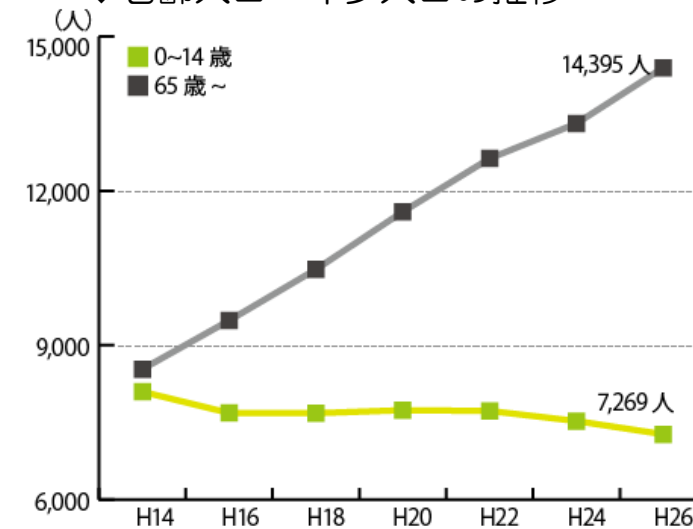
◆人口移動の推移



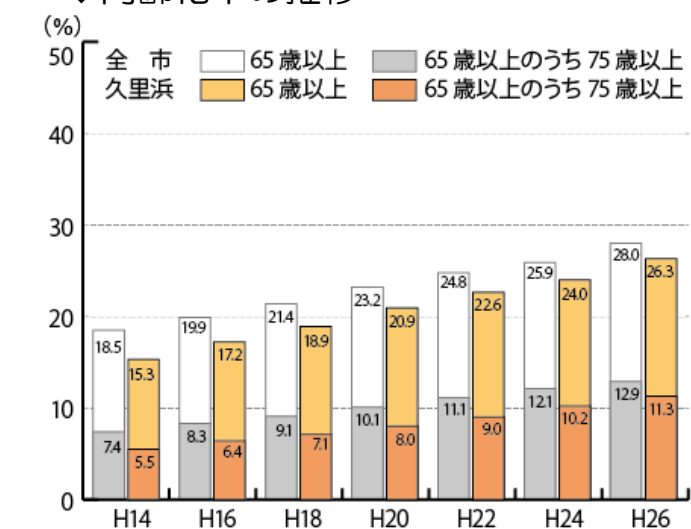
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



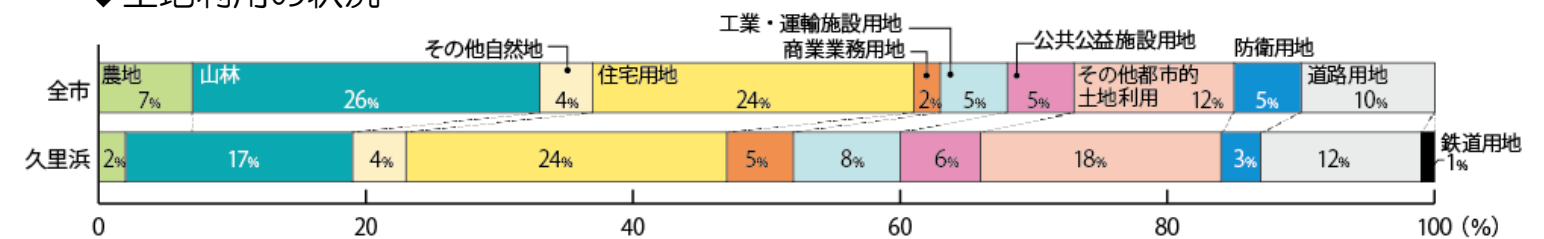
◆高齢人口・年少人口の推移



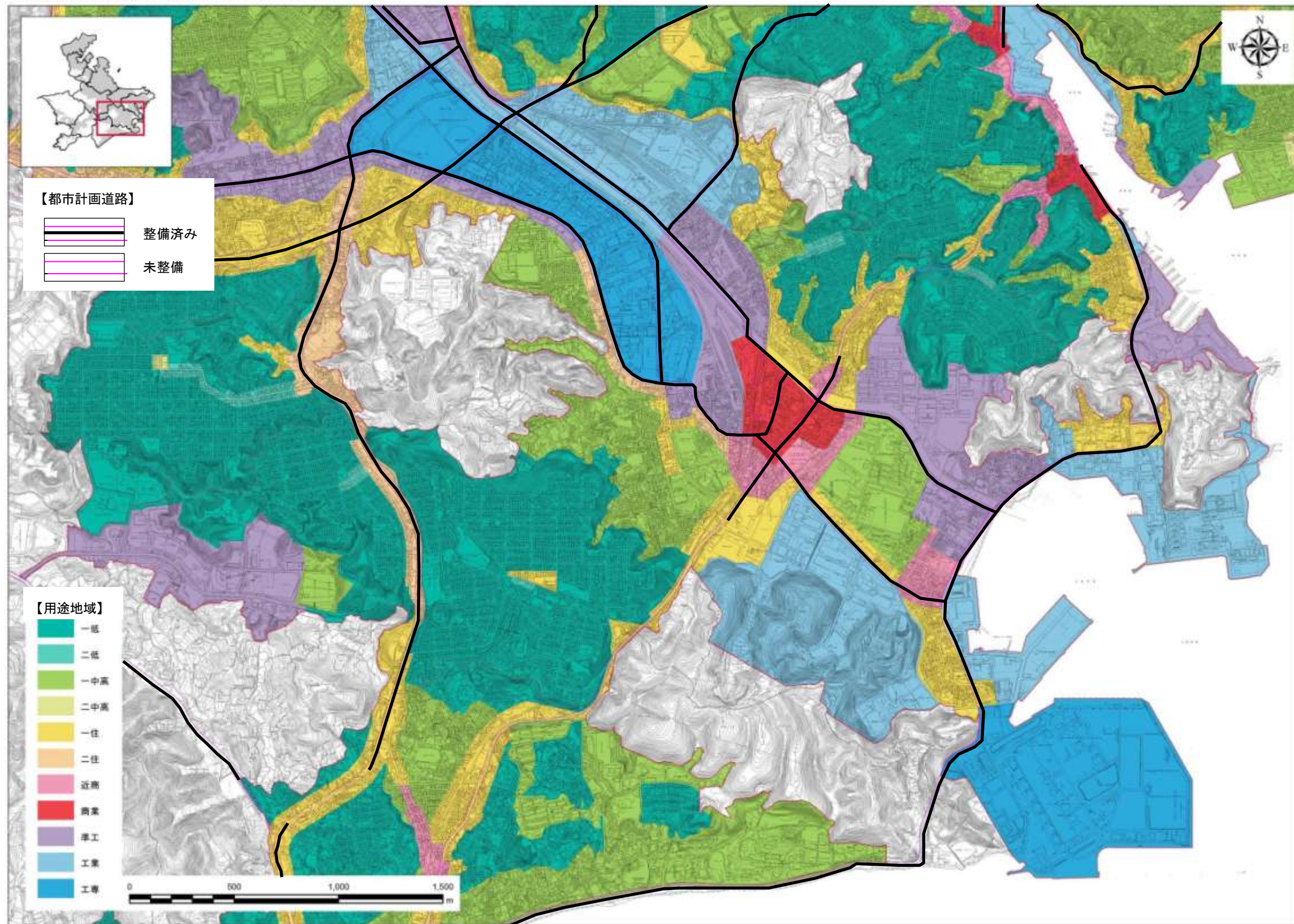
◆高齢化率の推移



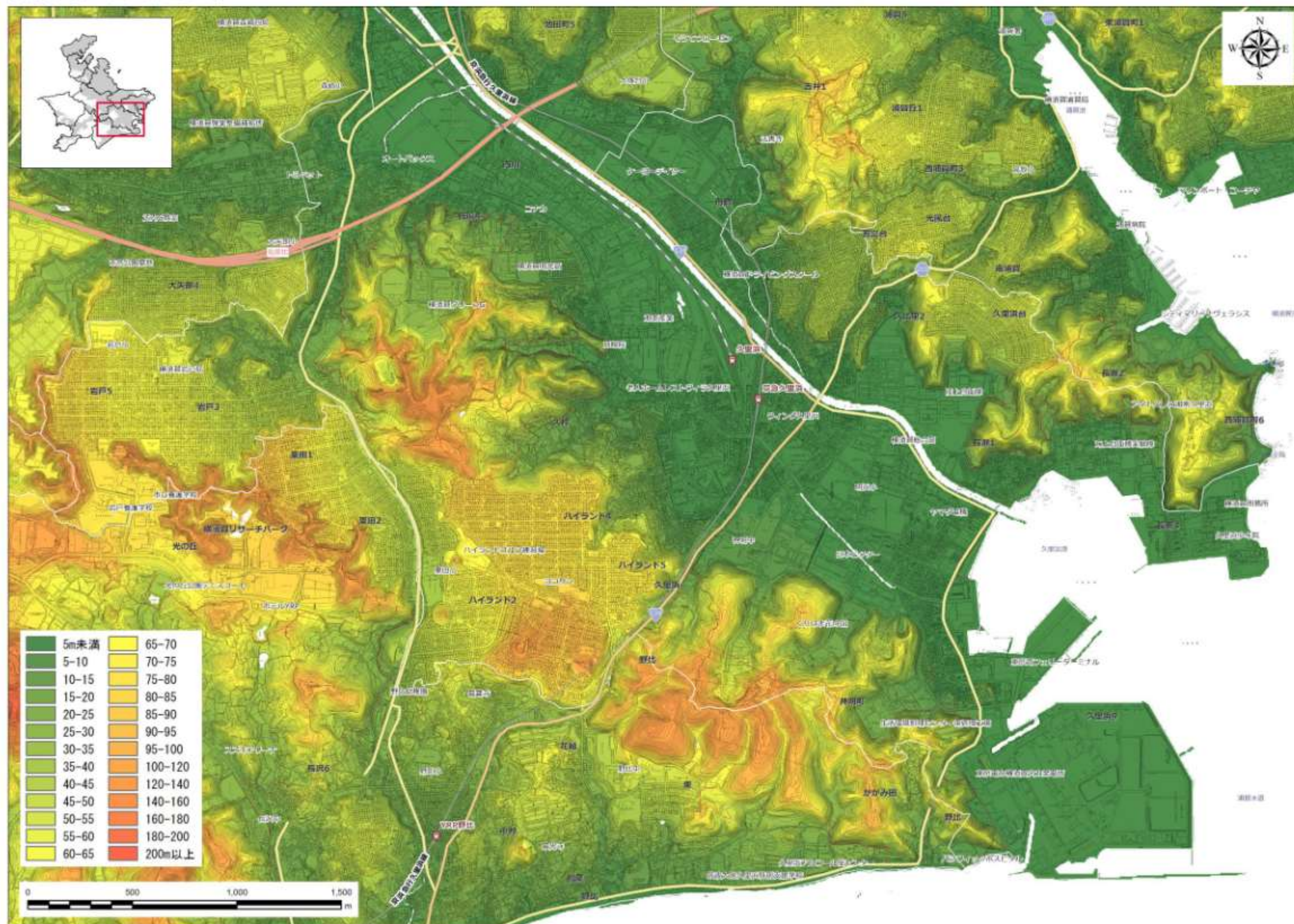
◆土地利用の状況



■都市計画の決定状況（久里浜地区）



■標高図（久里浜地区）



■航空写真（久里浜地区）



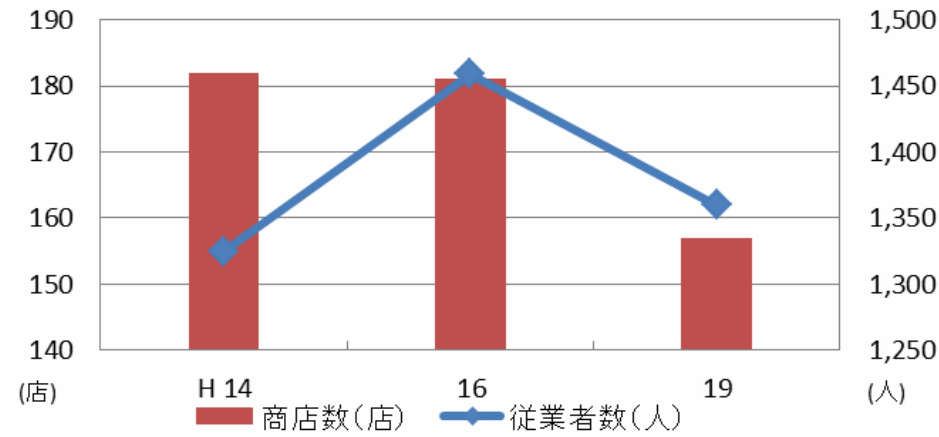
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要：8. 久里浜

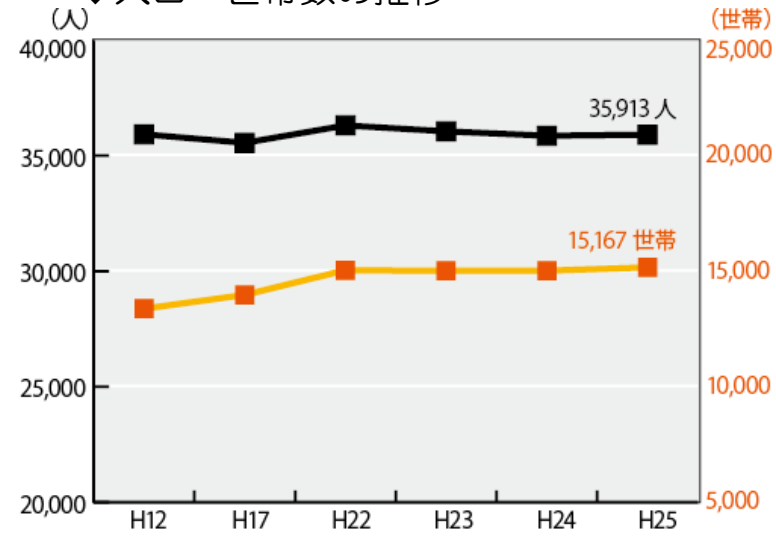
1. 日産、関東自動車の寮が無くなったのが、人口減少の要因だと思う。
働く場所がないと、人は入ってこない
2. 国、県、市が手を出せない民有地の急傾斜地にも、何か規制がかけられないか。
3. 衣笠大楠山の良好な自然の場にゴミ産業はおかしい
4. 久里浜は平地は埋まっている。市営住宅の跡地利用を考えてはどうか。鉄道用地、有効活用出来ないか。
5. 佐原側から国道 134 号線に出るのに梅田橋 1 本しかない。災害時の事を考えても、もう 1 本、橋をつくるべき。
6. 野比海岸に自転車道を整備してほしい。
7. 衣笠公園、衣笠城址から大楠山周辺の豊富な緑や、阿部倉・平作・衣笠町の里山の雰囲気は保全すべき。
8. 小学校の空き教室の有効活用（学童クラブなど）を考えるべき。

9. 北下浦地区

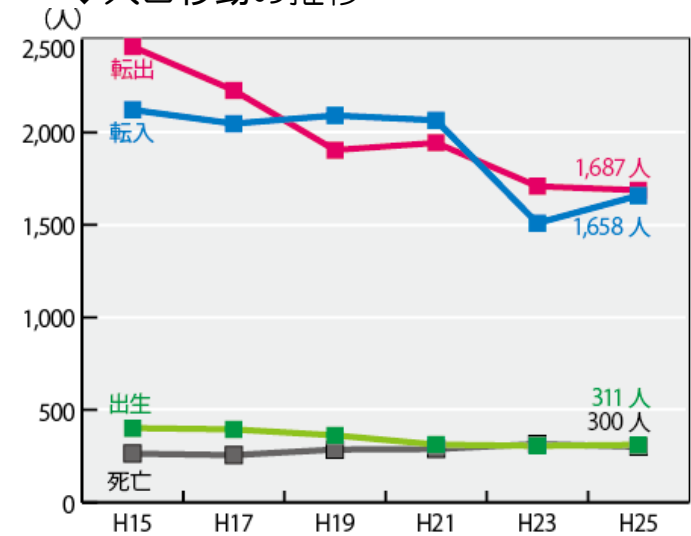
◆商店数・従業者数の推移



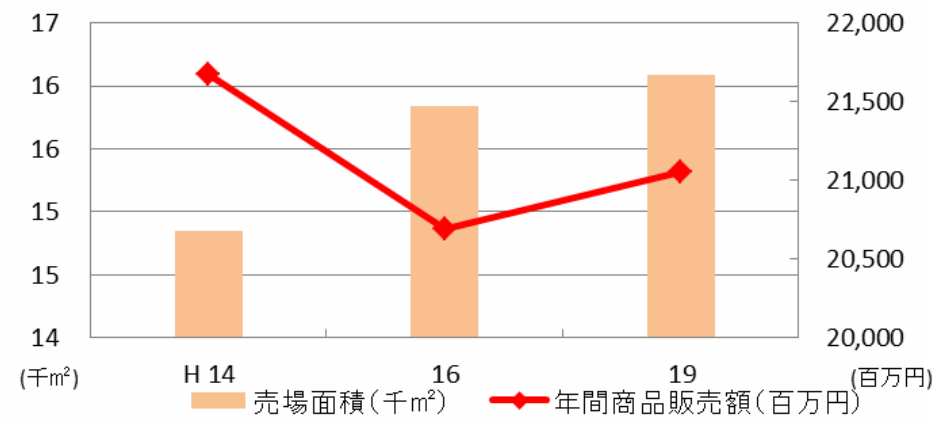
◆人口・世帯数の推移



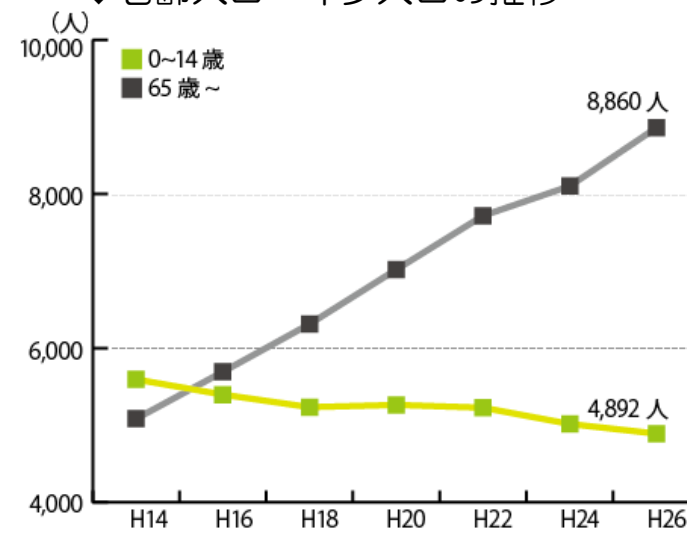
◆人口移動の推移



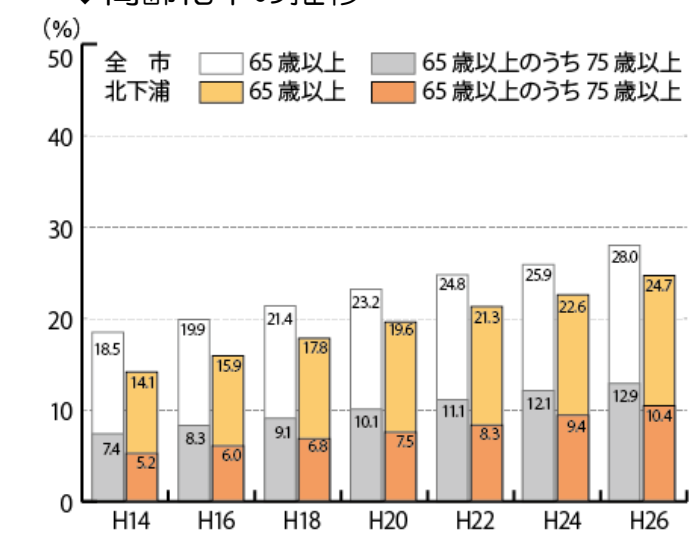
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



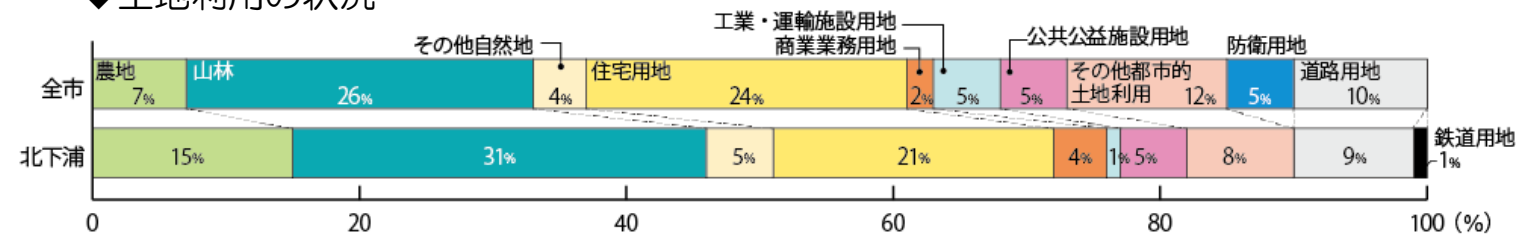
◆高齢人口・年少人口の推移



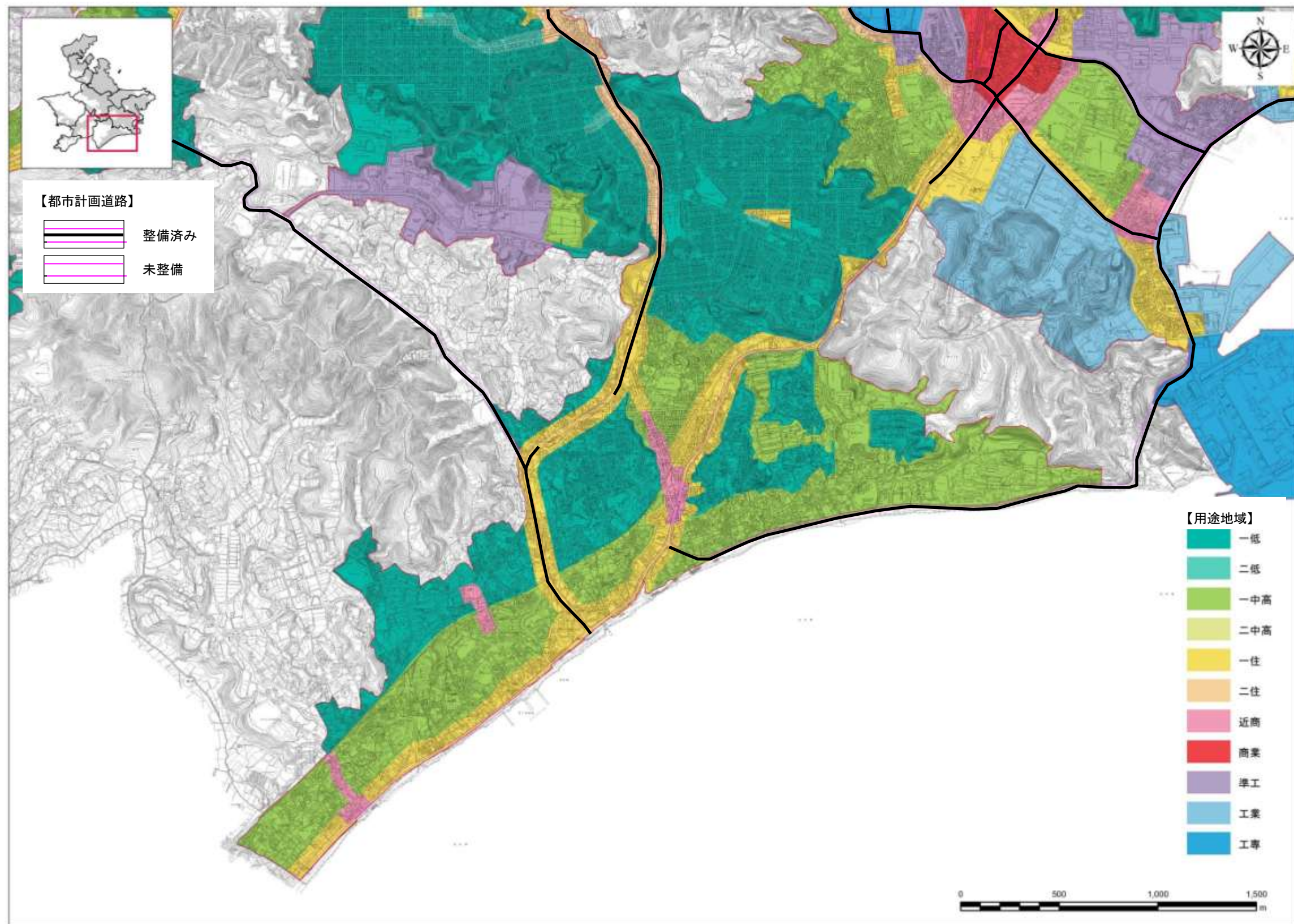
◆高齢化率の推移



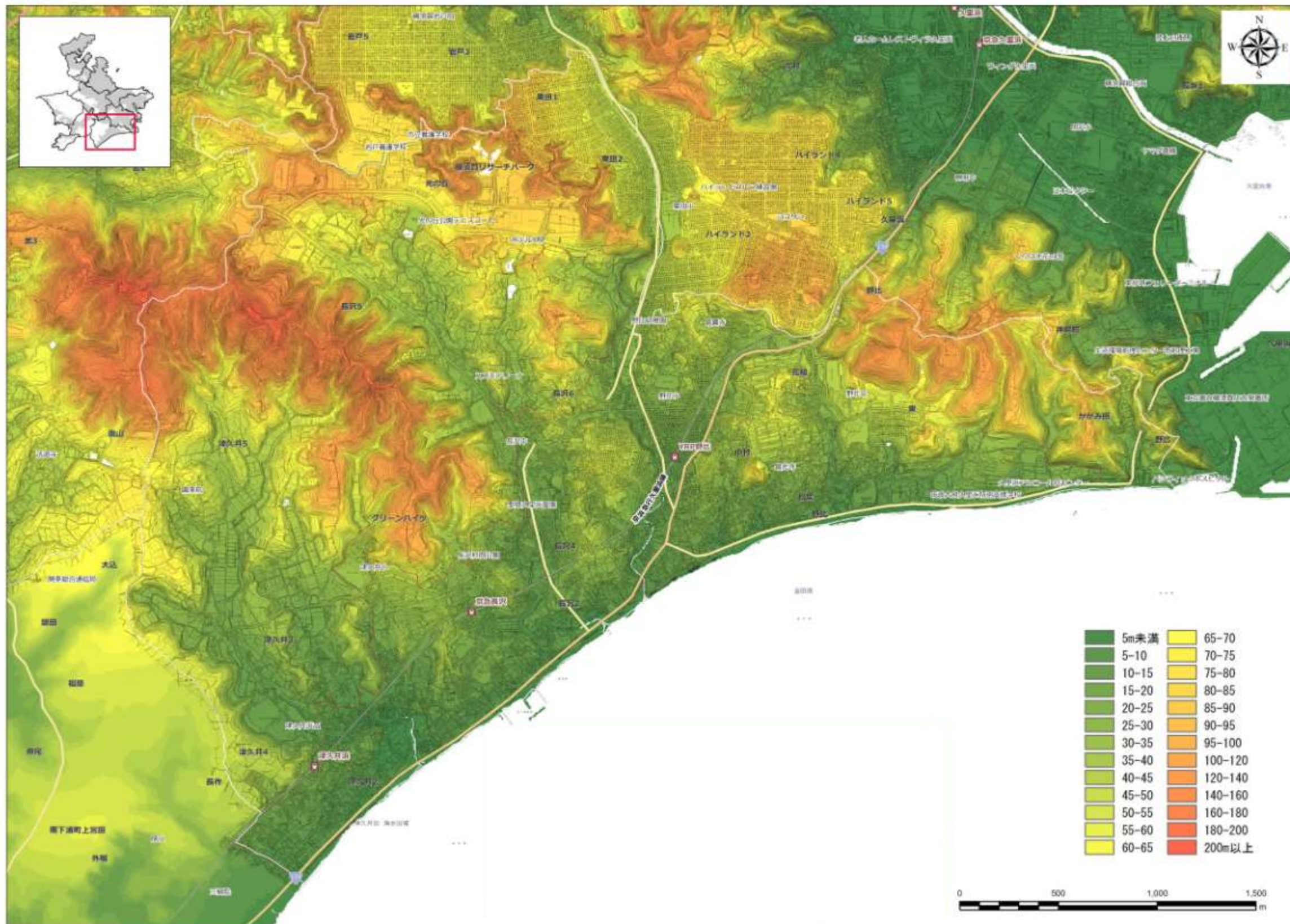
◆土地利用の状況



■都市計画の決定状況（北下浦地区）



■標高図（北下浦地区）



■航空写真（北下浦地区）



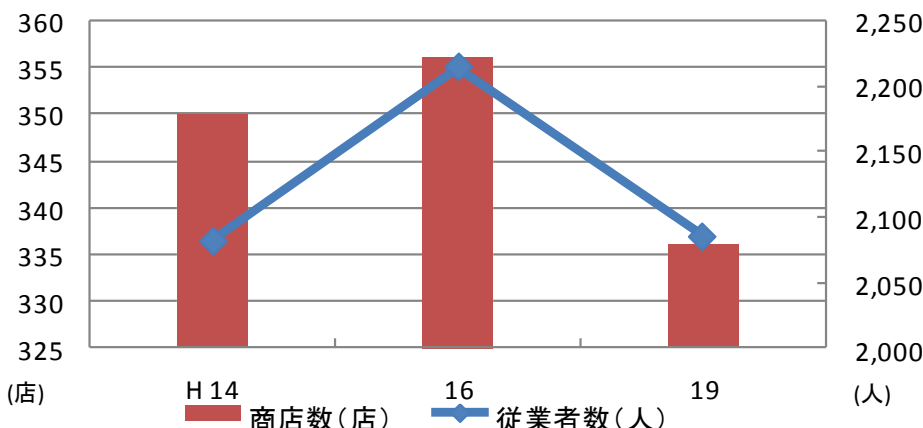
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要：9. 北下浦

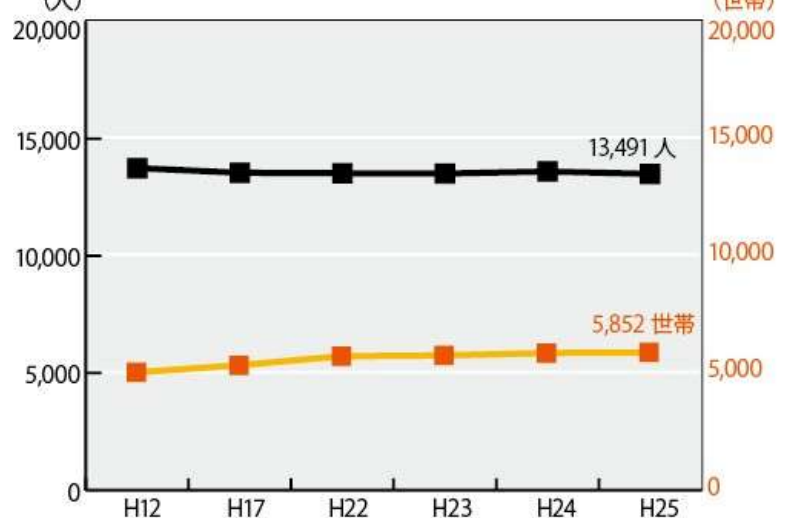
1. 若い人が市外に出ていく理由を探る必要がある。
2. 市の人口が減少していく中で北下浦は横ばいであるがその理由は解析する必要がある。
3. 丘陵部の団地では、高齢化による坂道階段の移動の不便、店舗の撤退で、生活が不便になっている。
4. 二世帯で生活できる住宅への支援策を検討すべき。減免など。
5. 横横の料金を下げて利用しやすく。
6. 国道 357 号線の延伸を進める。
7. JR 久里浜駅と京急久里浜駅を屋根付きのデッキで連絡させる。
8. 北下浦の漁業、農業で雇用創出を図る。
9. 海岸を活用してサイクリングコースや道の駅の整備を考えたい。

10. 大楠地区

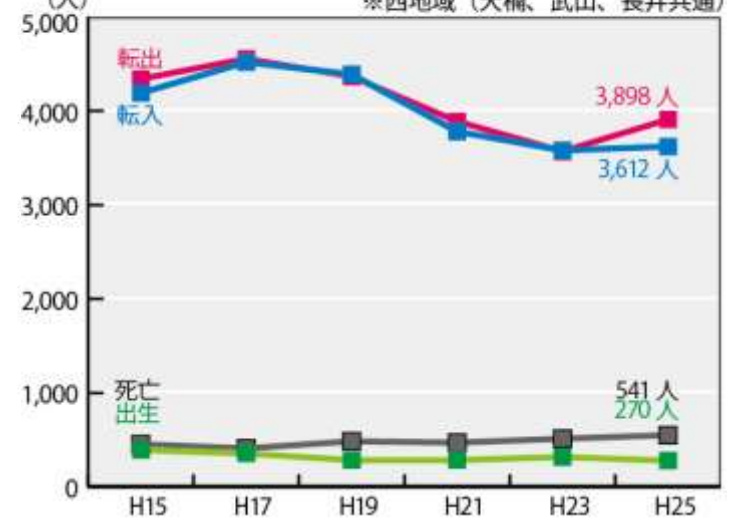
◆商店数・従業者数の推移



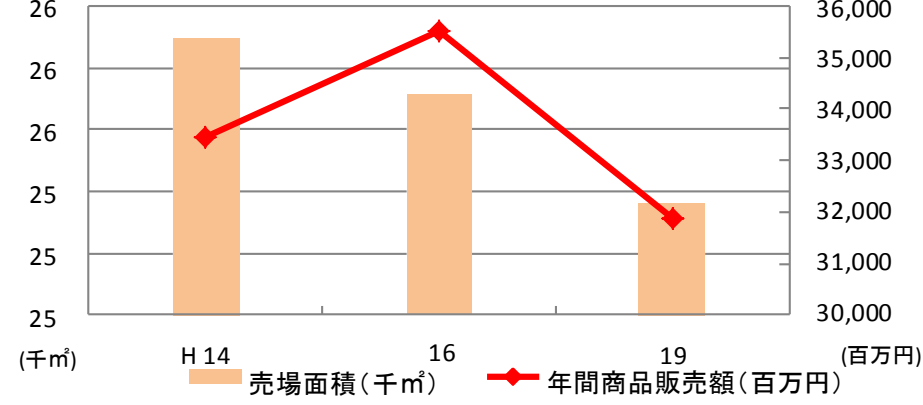
◆人口・世帯数の推移



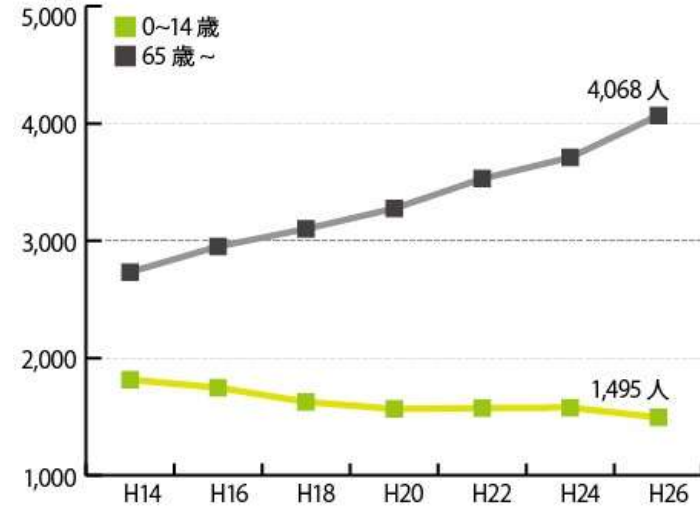
◆人口移動の推移



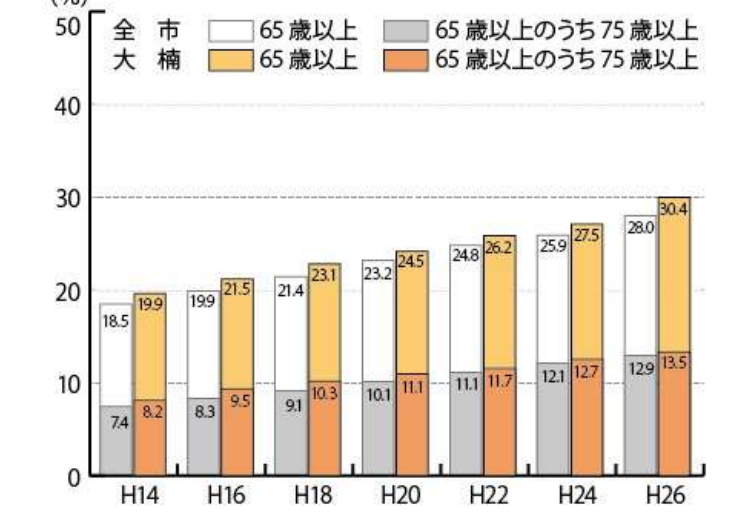
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



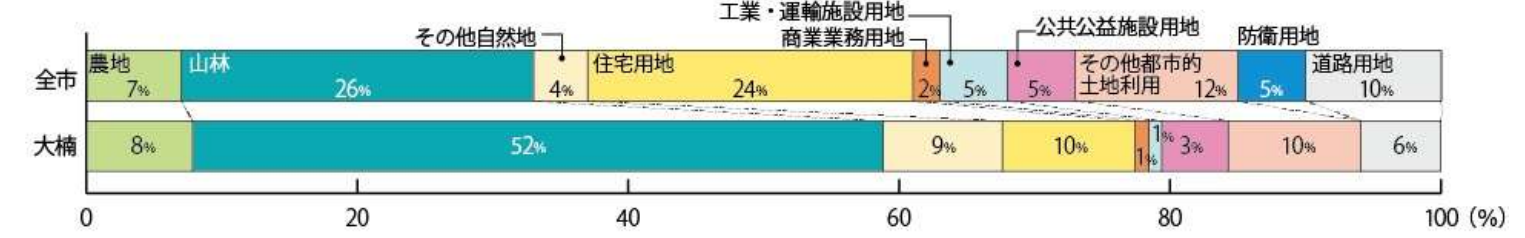
◆高齢人口・年少人口の推移



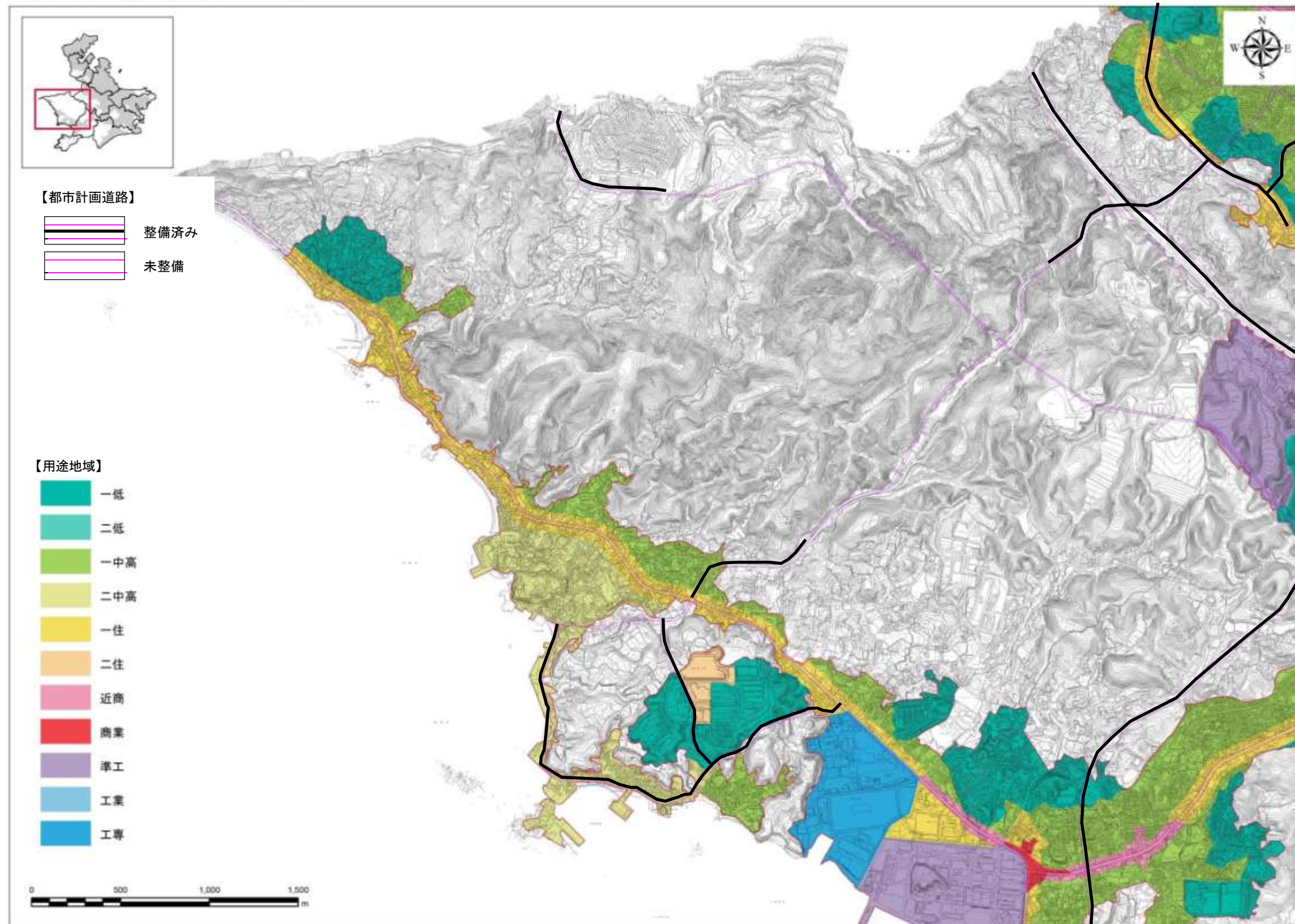
◆高齢化率の推移



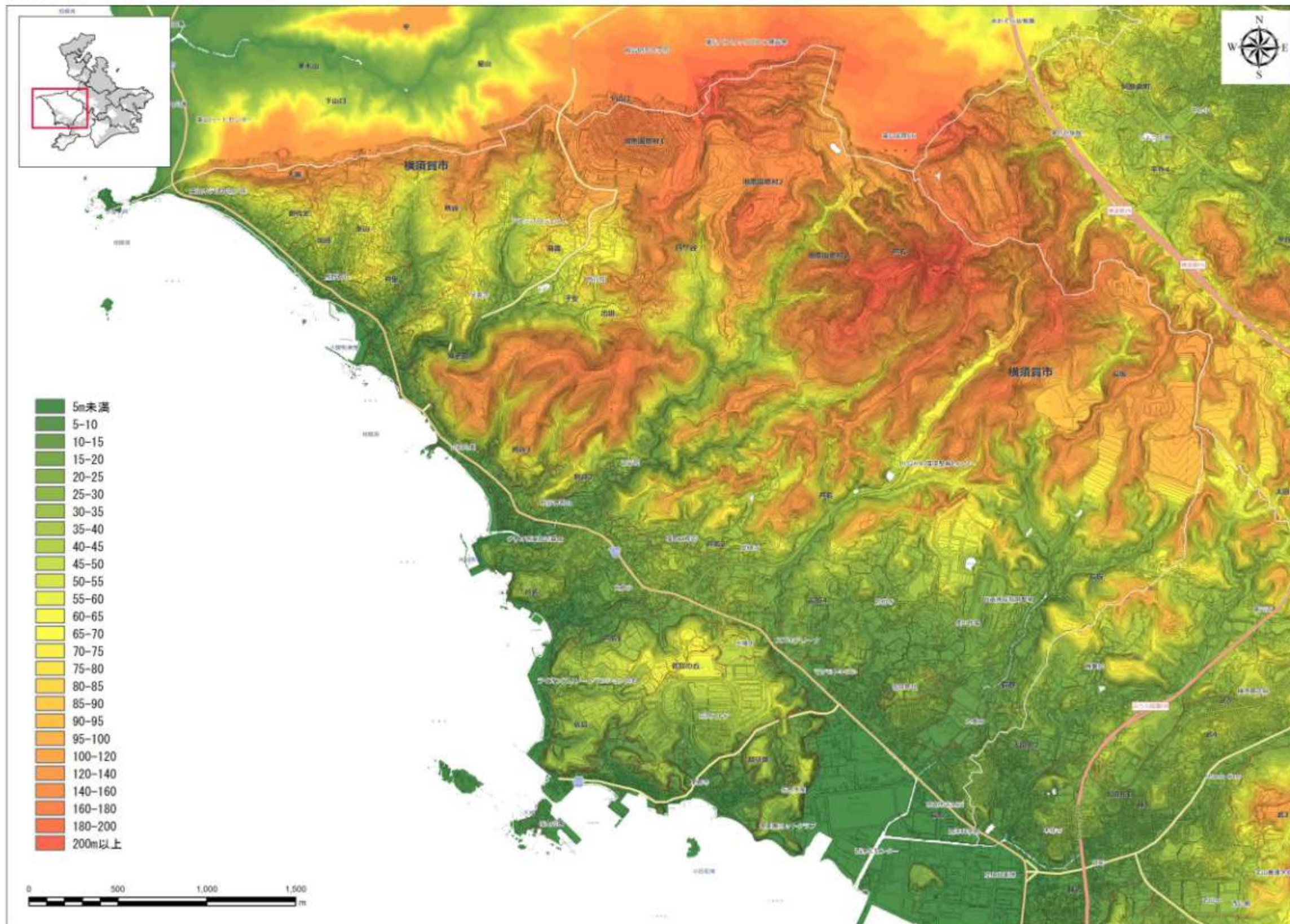
◆土地利用の状況



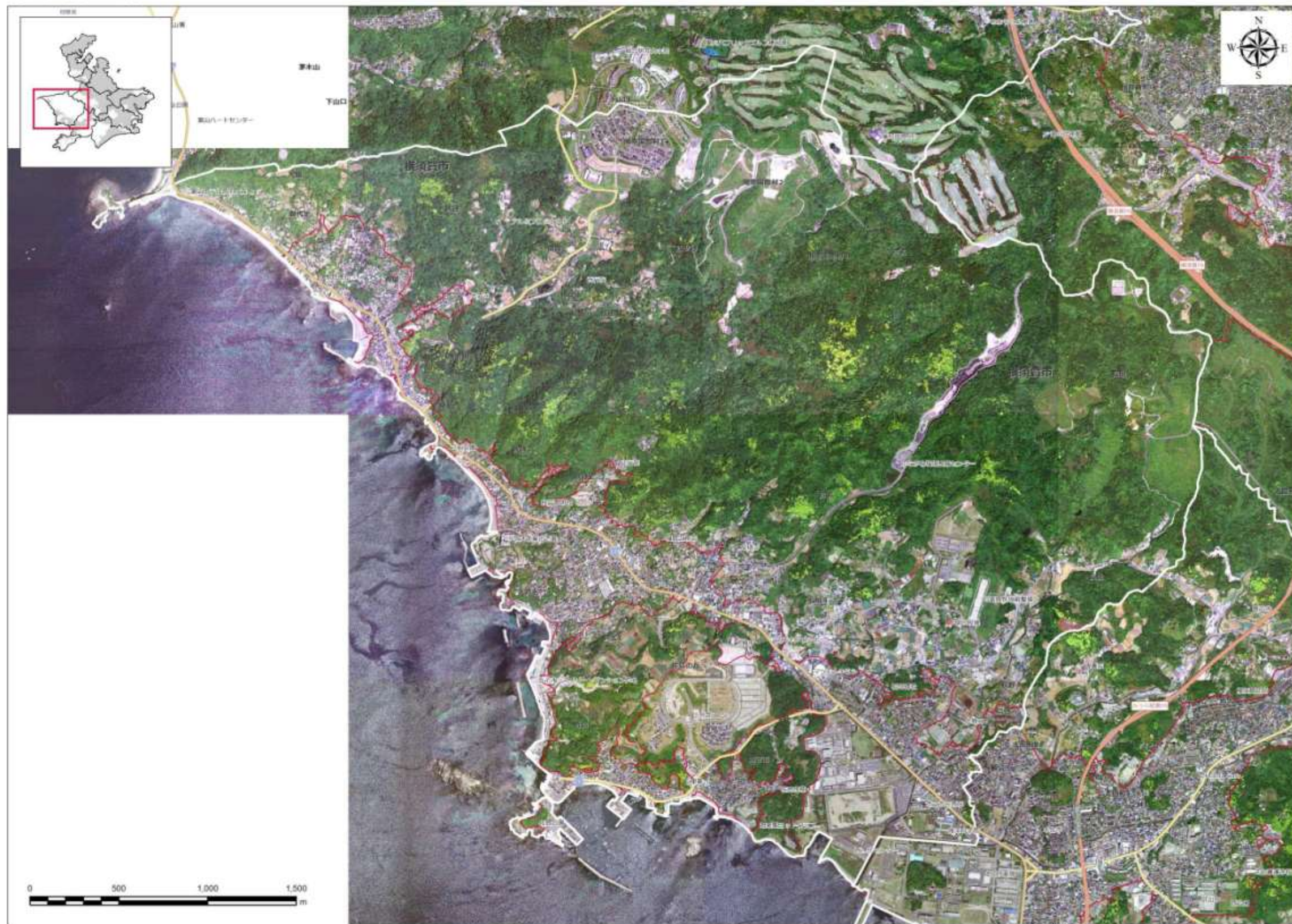
■都市計画の決定状況（大楠地区）



■標高図（大楠地区）



■ 航空写真（大楠地区）



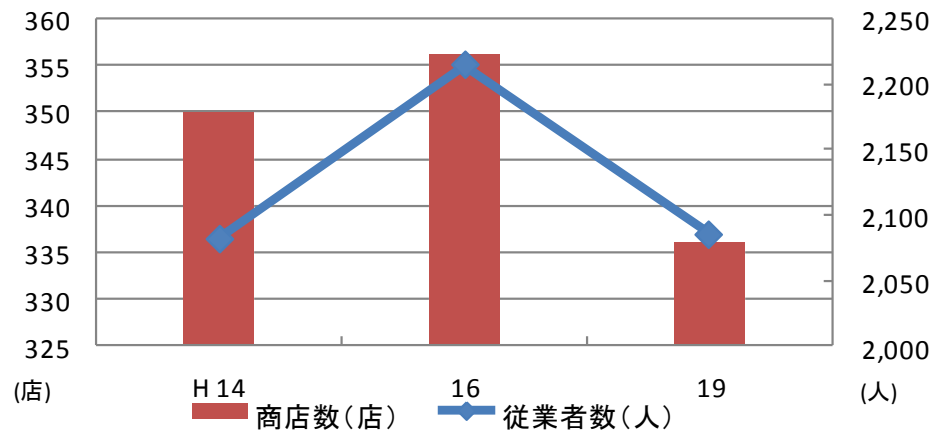
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要：10. 大楠

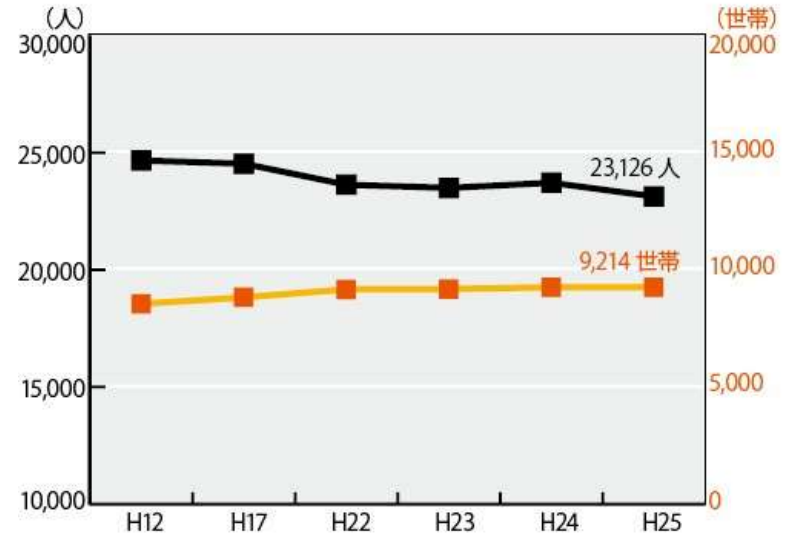
1. 豊かな自然の中で育つ文化、食の文化を発信していくまちづくりをしたい。
2. 調整区域の規制を緩和して、子供世帯の近居やレストラン等の集客施設を立地できるようにしてほしい。
3. 調整区域の畑が荒れている。不在地主の土地が資材置き場になっている。管理をしっかりとるようにしてほしい。
4. アクセスが非常に悪い。東京に2.5時間もかかる。
5. 渋滞がひどく、朝は衣笠十字路まで車が動かない。
6. 車道、歩道が狭く、自転車、歩行者、車椅子などが危険。
7. 大楠に産廃の最終処分場がありごみ焼却場がつくられようとしている。こうした施設は工業地域に持っていくべきである。
8. 市民病院が薄暗い感じなので、コンビニを入れて明るく若い人も利用しやすくしたい。

11. 武山地区

◆商店数・従業者数の推移



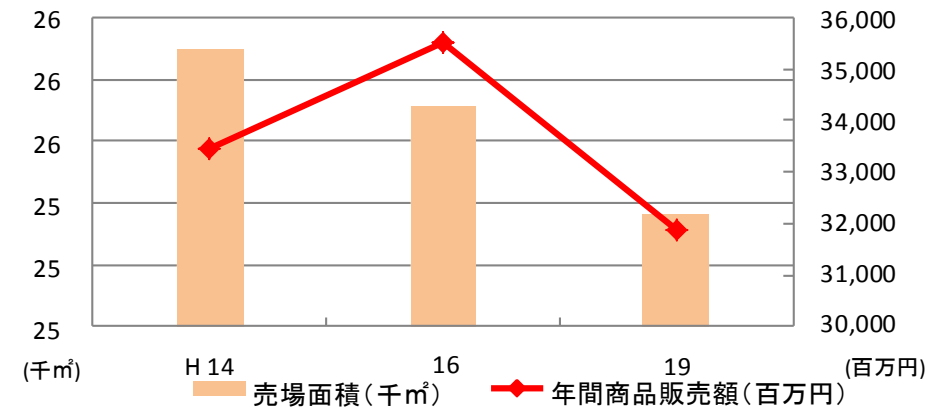
◆人口・世帯数の推移



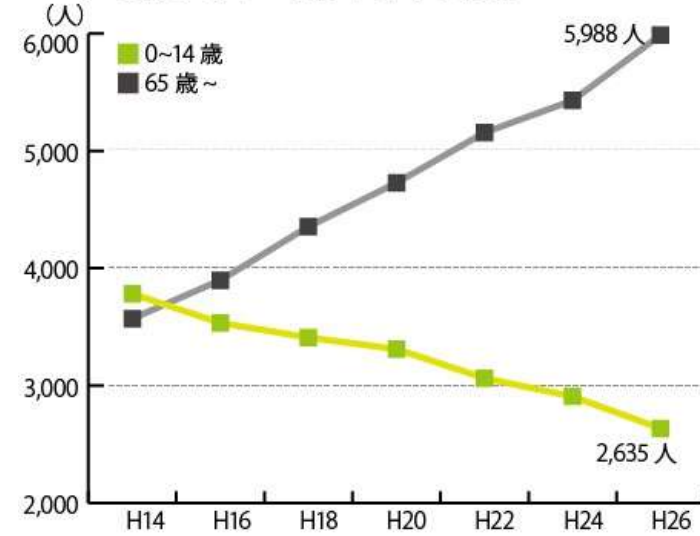
◆人口移動の推移



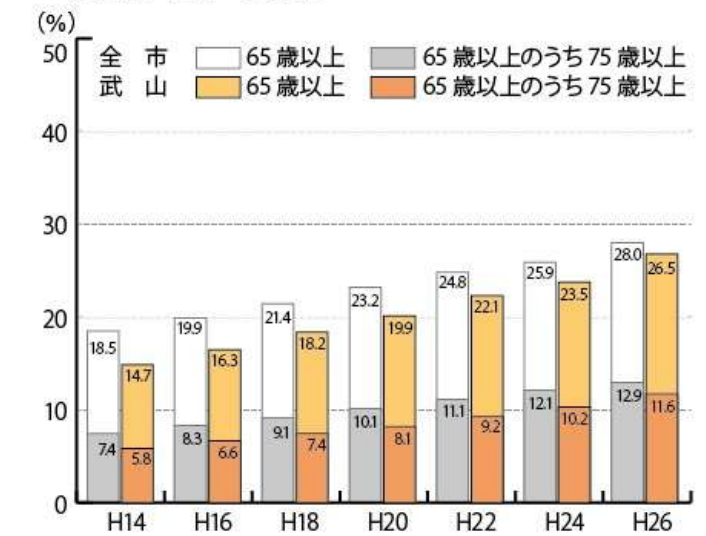
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



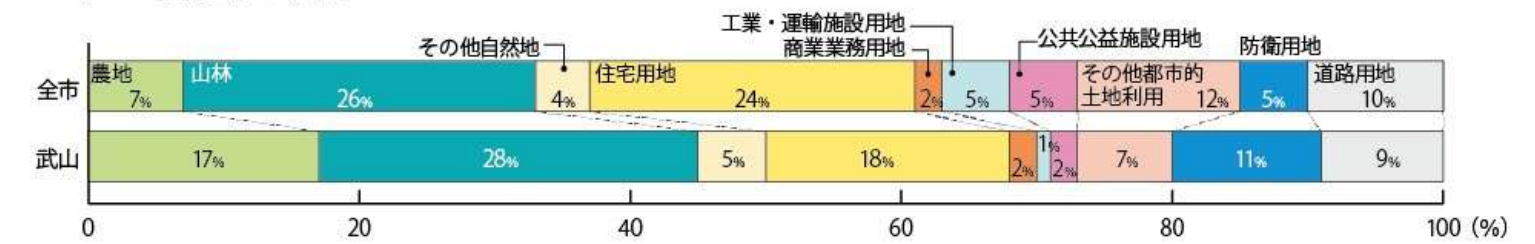
◆高齢人口・年少人口の推移



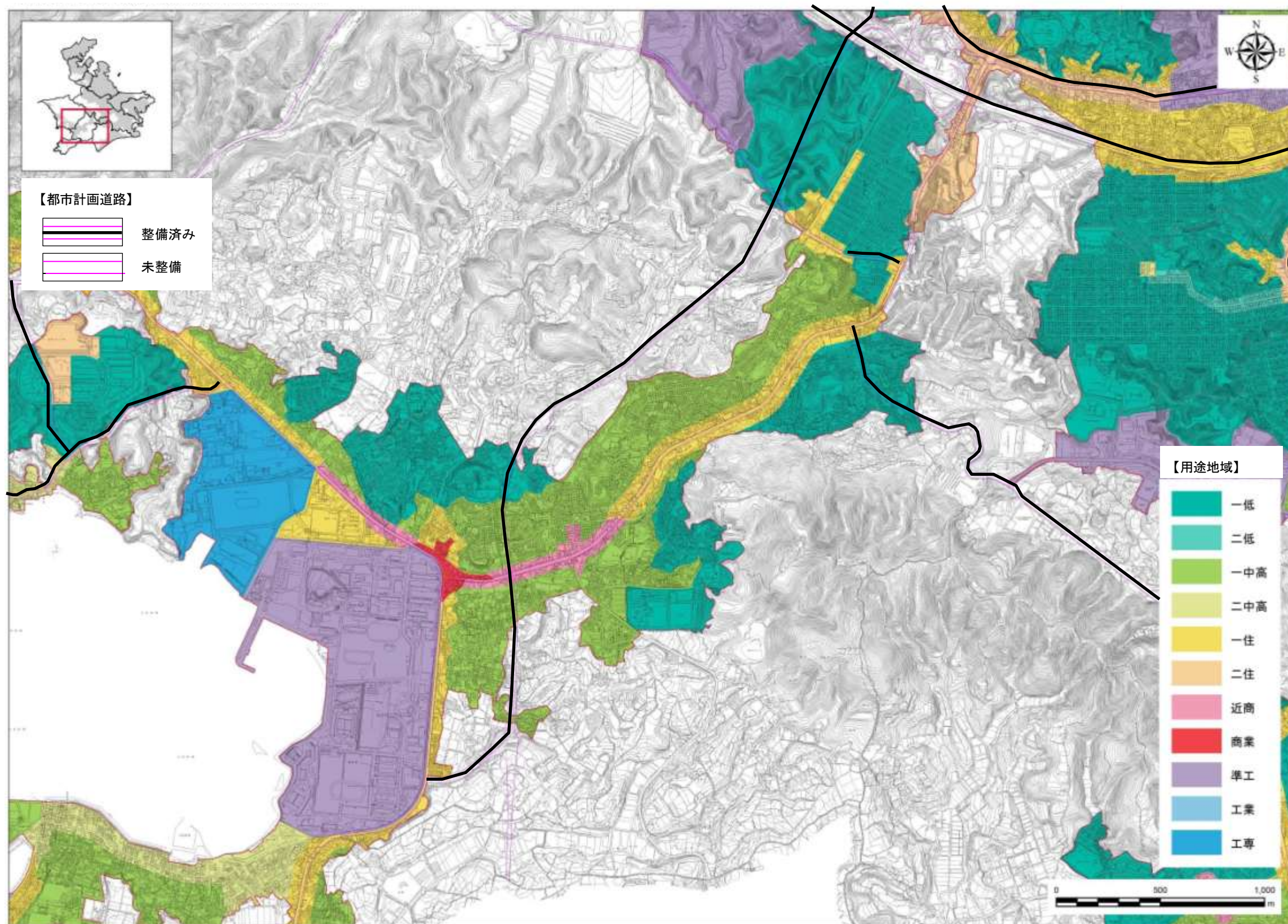
◆高齢化率の推移



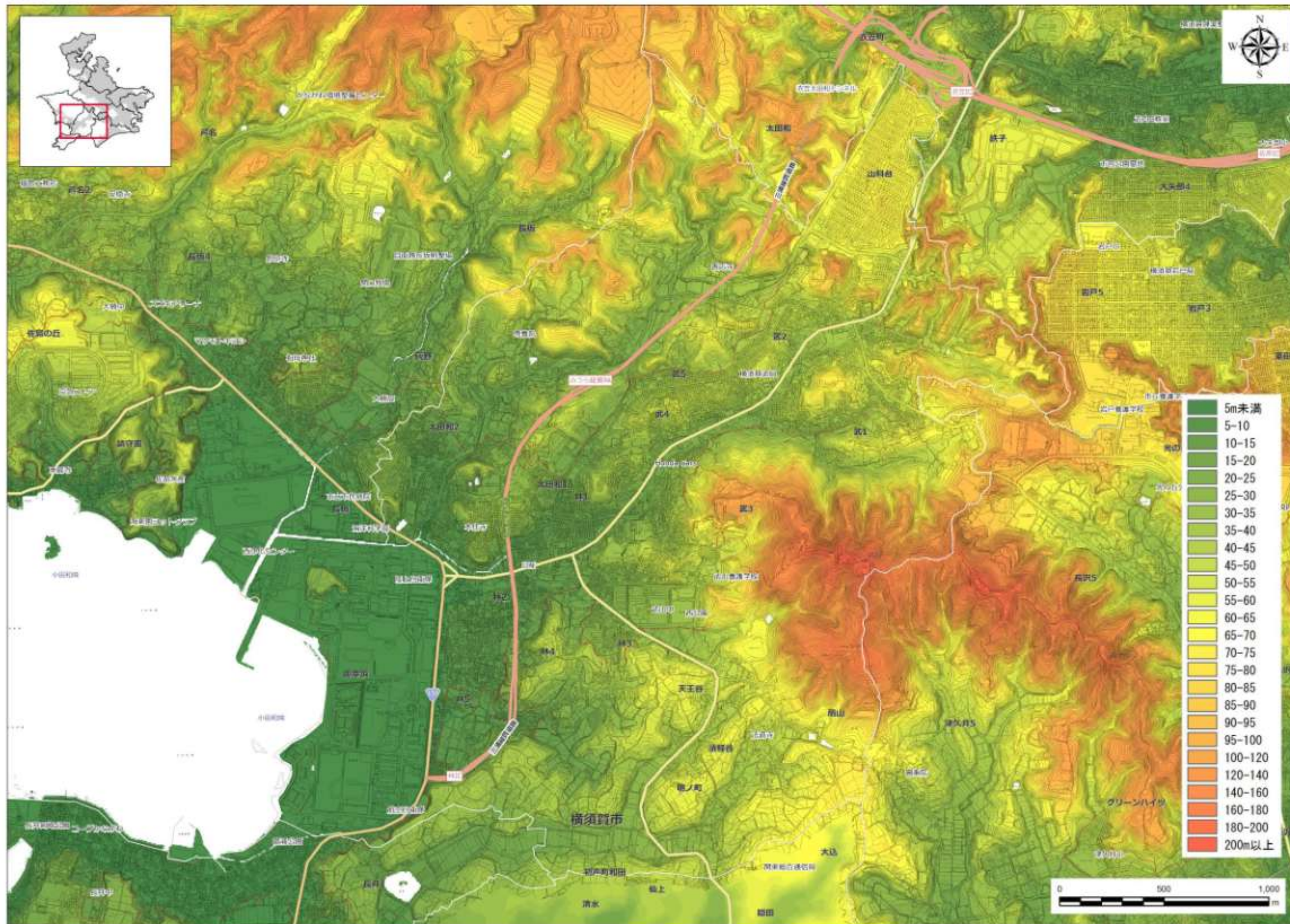
◆土地利用の状況



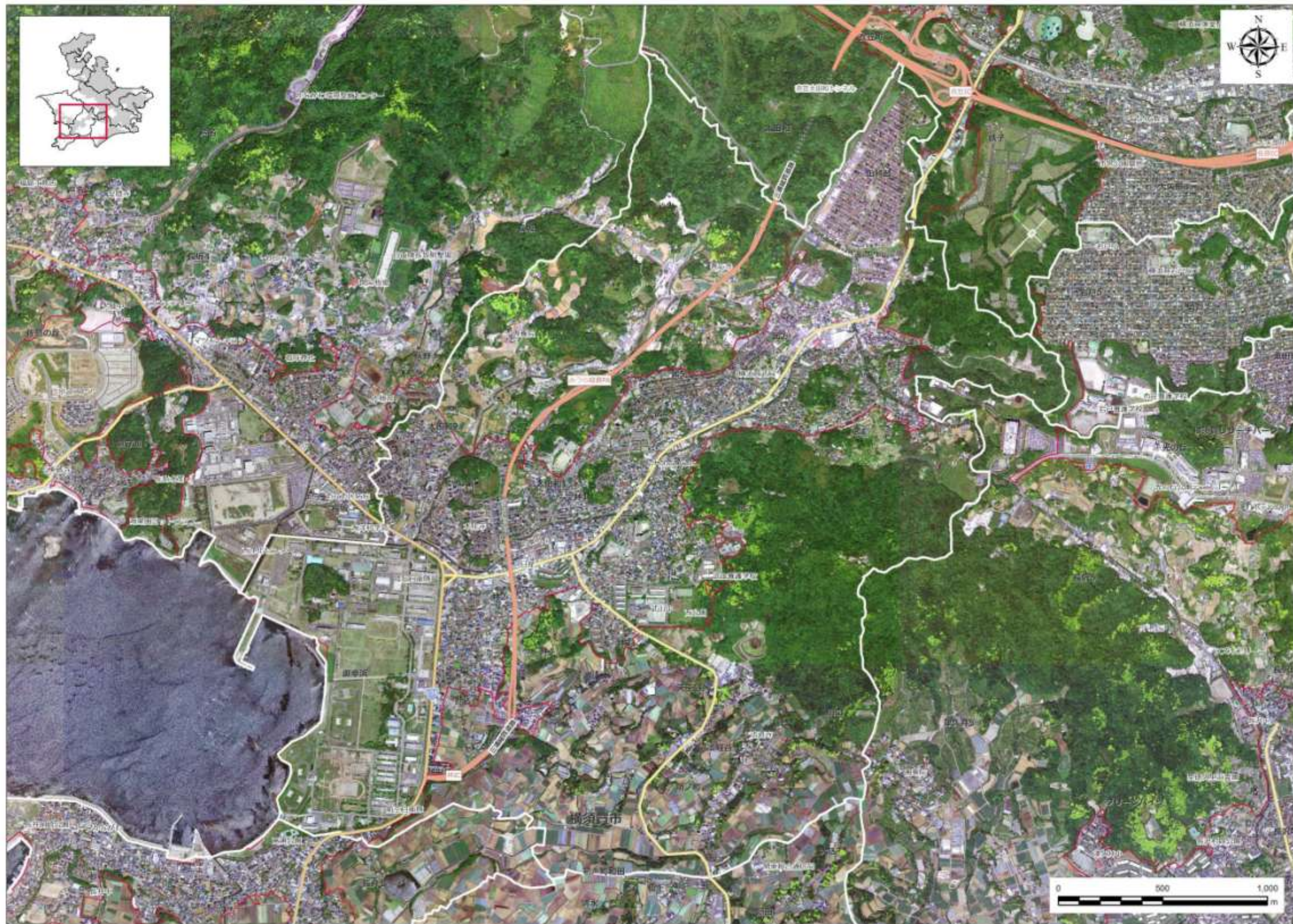
■都市計画の決定状況（武山地区）



■標高図（武山地区）



■ 航空写真（武山地区）



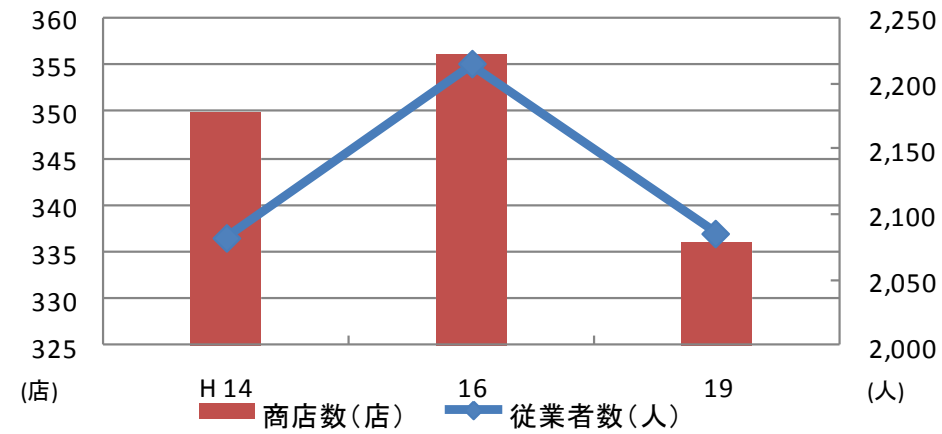
※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要：11. 武山

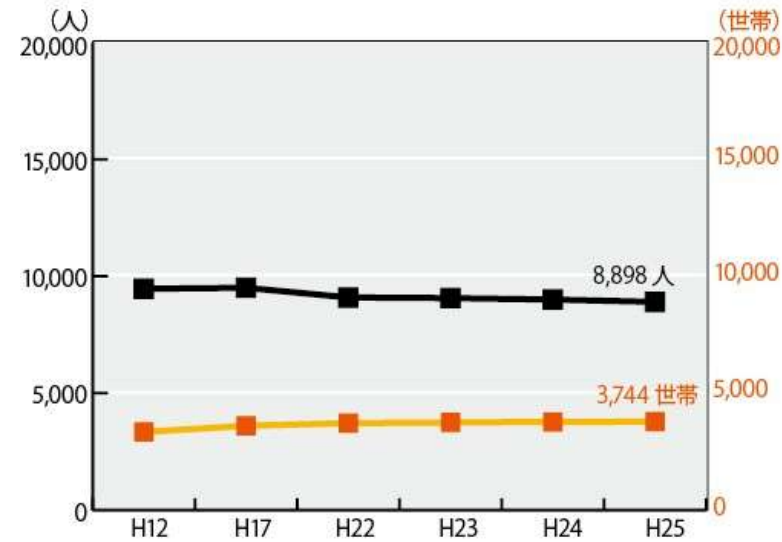
1. 高齢化がより一層進んでいく。
2. 大きな産業がなくなり、市外に働きに出て行ってしまう。
3. 将来人口がこんなに減るのか、という感じがする。
4. これからを引き継ぐ若い世代に示せる都市マスが必要だ。
5. バスの本数はあるが、鉄道駅のある地区に比べると不便である。
6. 空き家が増えている。マンションも7割くらいしか埋まらない。

12. 長井地区

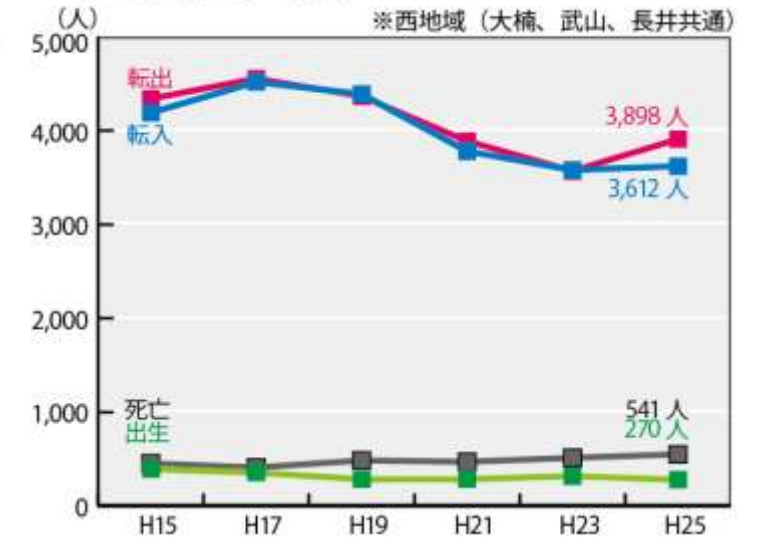
◆商店数・従業者数の推移



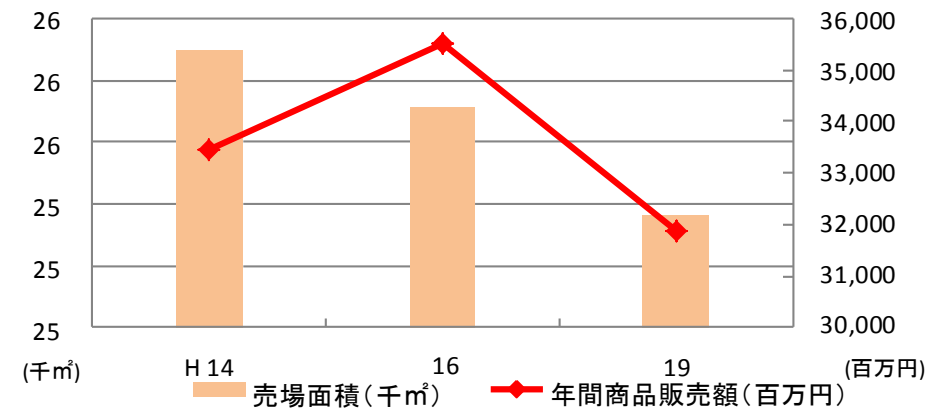
◆人口・世帯数の推移



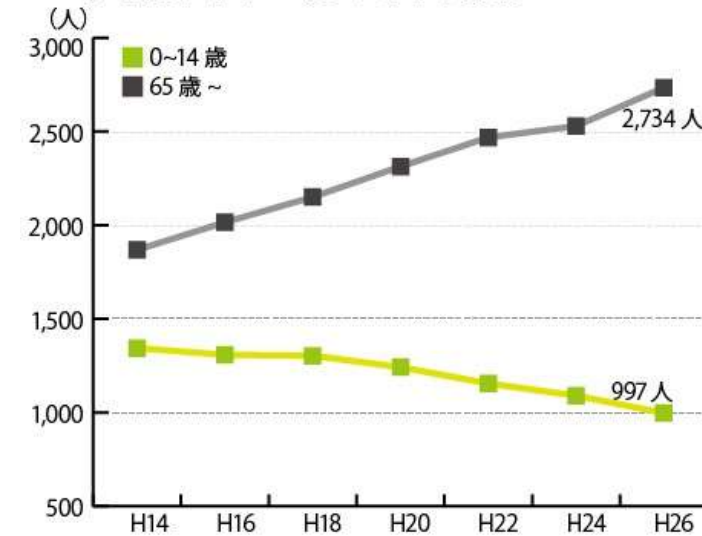
◆人口移動の推移



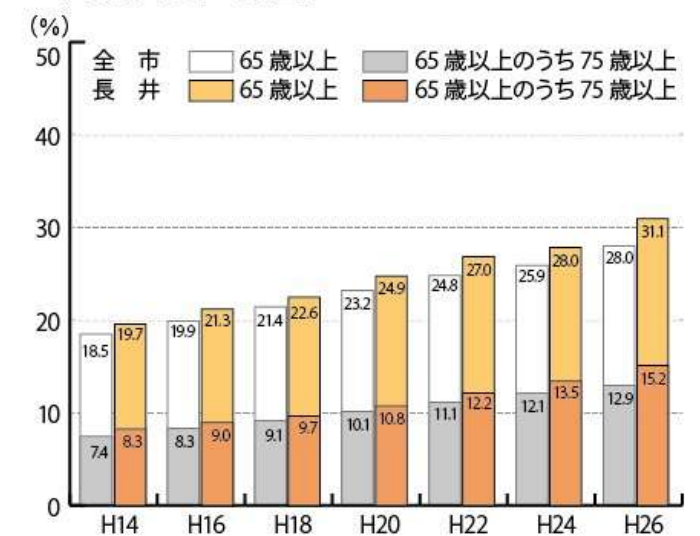
◆年間商品販売額・売り場面積の推移



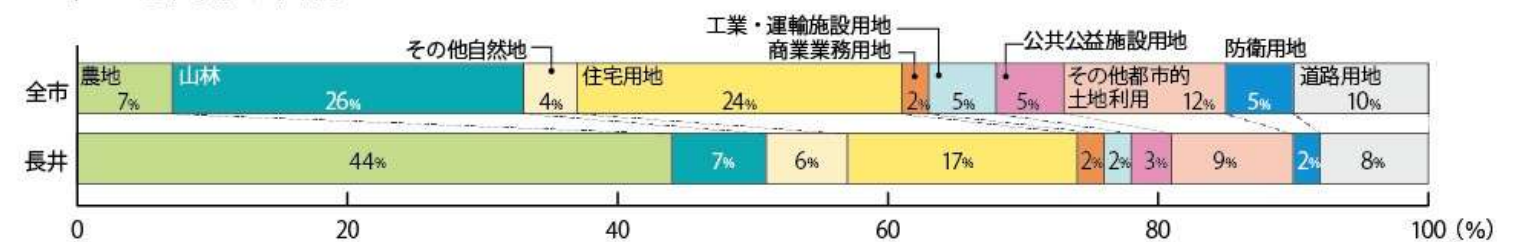
◆高齢人口・年少人口の推移



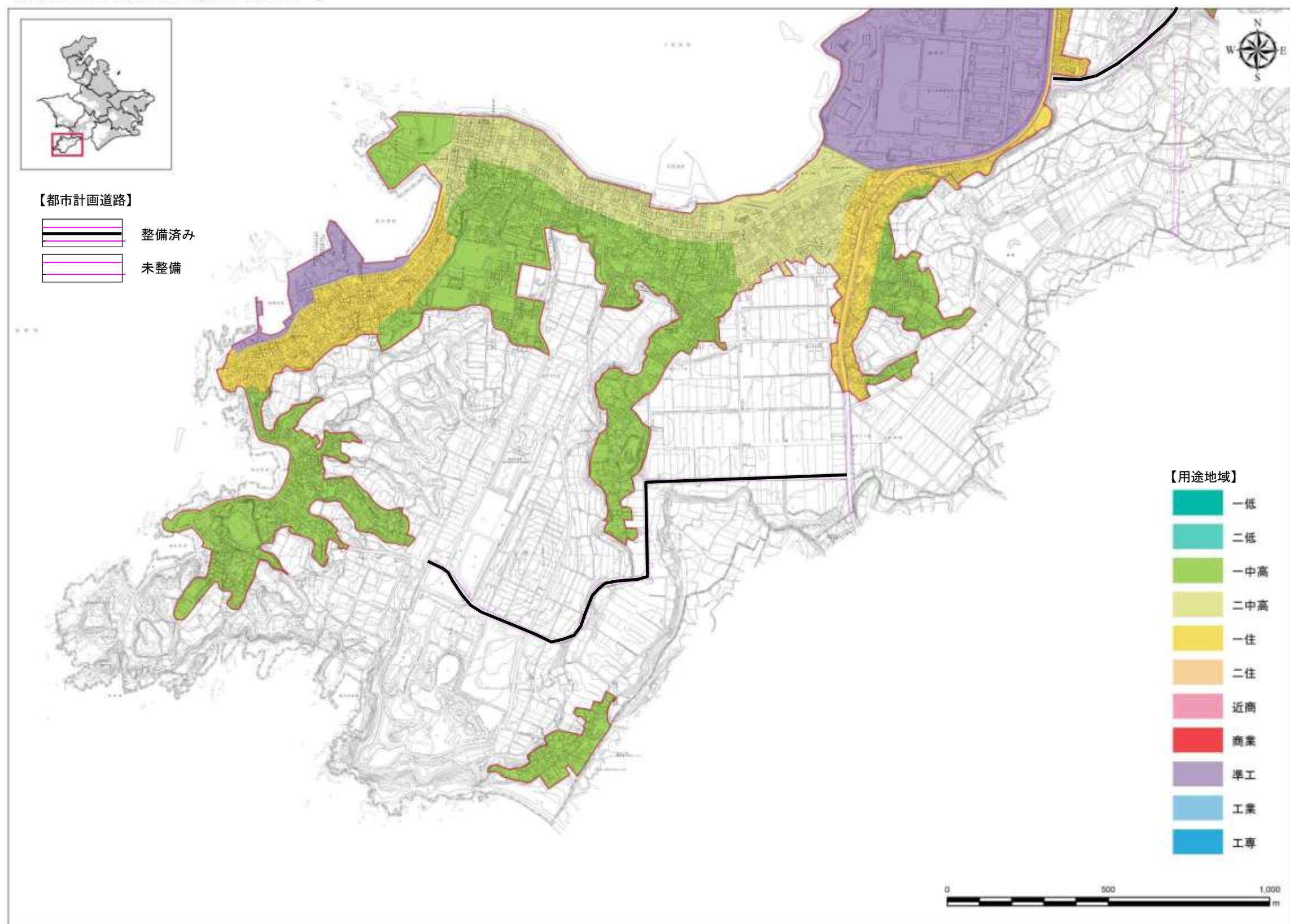
◆高齢化率の推移



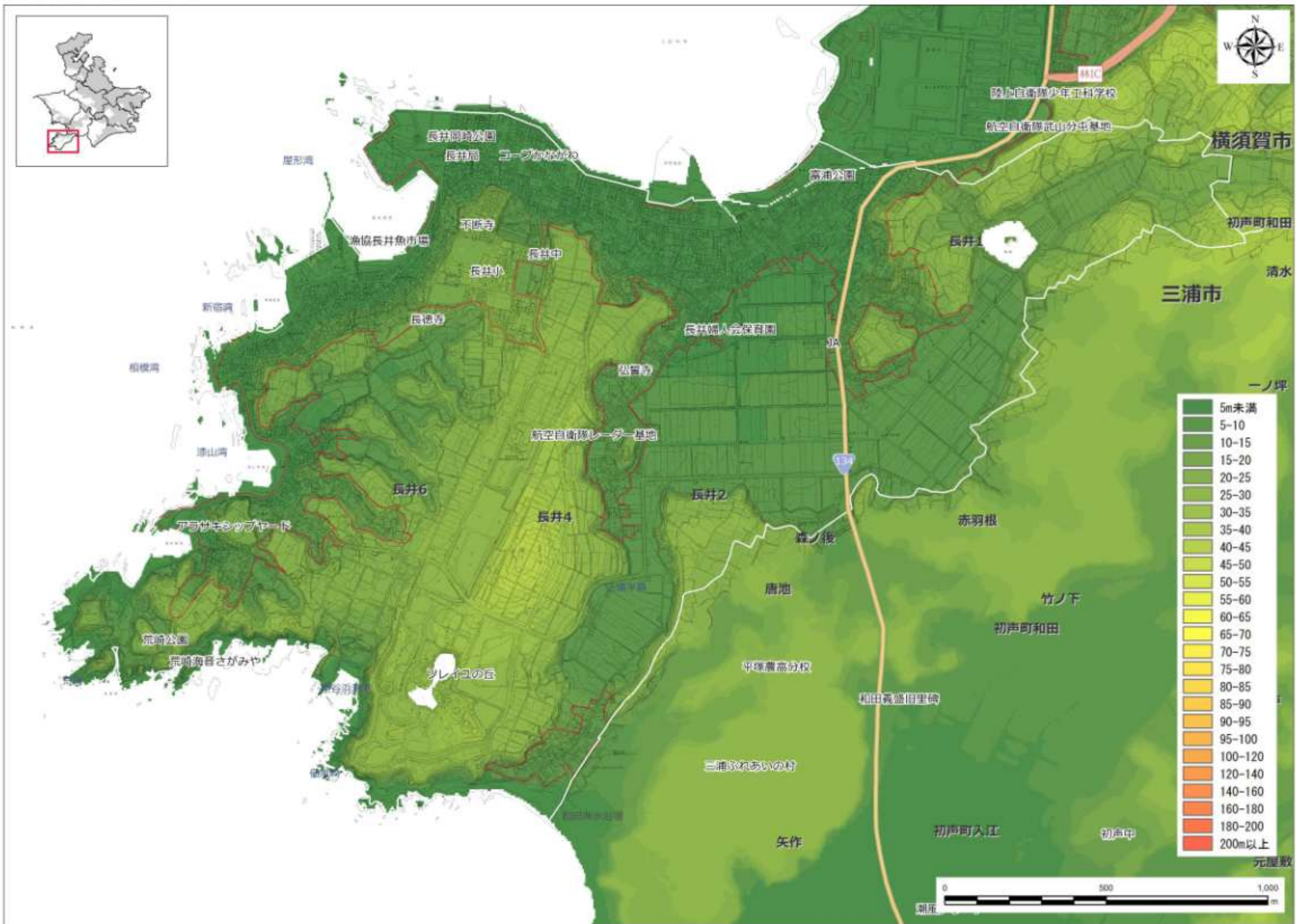
◆土地利用の状況



■都市計画の決定状況（長井地区）



■標高図（長井地区）



■航空写真（長井地区）



※平成 22 年撮影

地区別意見交換会 意見概要：12. 長井

1. 横横道路の料金を下げて、羽田に近い立地を生かして観光利用につなげる。
2. 生活の基盤であり、産業や交流の柱である交通の利便性が第一である。
3. ソレイユの丘を健康づくりの拠点にする。地元の物産の加工販売をする。平日も利用者を増やす。
4. 「すかなごっそ」は素晴らしい施設だが 134 号沿いにあり、休日は交通渋滞がひどい。
5. 買い物が困難な高齢者へのコミュニティバスの運行を地元の N P O などで行いたい。
6. 老朽した施設や上下水道などの維持管理費が心配である。
7. ソレイユの丘を電気、食糧を自給できる防災拠点にしたらどうか。

